

島根県教育庁

# 埋蔵文化財調査センター年報 31

—令和4年度—

2023

島根県教育委員会



# 目次

埋蔵文化財調査センターの概要	1
I 令和4年度の調査体制	3
1 組織	3
2 職員一覧	3
II 埋蔵文化財活用事業	4
1 埋蔵文化財調査センター講演会	4
2 現地説明会	4
3 文化財講座『いにしえ倶楽部』	5
4 「ふるさと島根の遺物」貸出事業	5
5 心に残る文化財子ども塾	5
6 インターンシップ	6
7 教員のための博物館の日	6
8 見学等の案内	6
9 職員の講師派遣	7
10 その他	7
11 資料の貸出・調査等	7
12 埋蔵文化財調査センター開設30周年事業	11
III 研究事業	12
IV 研修事業	12
1 埋蔵文化財基礎研修	12
2 埋蔵文化財専門研修	14
V 会議・講習会等参加	15
VI 発掘調査事業	16
1 一般国道9号(静間仁摩道路)改築工事に伴う発掘調査	17
2 一般国道9号(福光浅利道路)改築工事に伴う発掘調査	18
3 一級河川江の川直轄河川改修事業(太田地区)に伴う発掘調査	19
4 斐伊川水系大橋川河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	21
5 国道432号大庭バイパス建設に伴う発掘調査	25
6 安来道路4車線化事業に伴う発掘調査	26
7 民間開発に伴う発掘調査	27
VII 学術調査ほか	29
1 史跡出雲国府跡	29
2 考古基礎資料調査研究(墓制調査)	31
3 考古資料基礎調査研究(出土品再整理事業)	32
4 保存処理・理化学分析	32
5 試掘確認・分布調査	35

VIII	県内調査一覧	36
IX	刊行物	39
	1 報告書	39
	2 パンフレット	40

# 埋蔵文化財調査センターの概要

## 埋蔵文化財調査センターの設置目的

島根県には、多数の青銅器が発見され全国的に注目された荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡をはじめ、全国で唯一ほぼ完本で伝わる『出雲国風土記』、国宝の出雲大社本殿、神魂神社本殿、松江城天守、世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡など貴重な文化遺産が数多く存在しています。

その一方で、県内では1980年代から道路建設やダム建設などの各種開発事業が急増し、開発事業と埋蔵文化財保護との調整が課題となってきました。そこで、これらの課題に対処するとともに、県内の埋蔵文化財を調査・研究・保護し、調査成果の普及啓発を進めていくことを目的として、1992年（平成4）に埋蔵文化財調査センターが設置されました。

## 埋蔵文化財調査センターの業務

- 埋蔵文化財の調査及び研究
- 出土遺物の分析（軟X線検査装置・赤外線映像撮影装置・実体顕微鏡など）
- 出土遺物の保存処理（木製品・金属製品）
- 考古資料の保存・収蔵・管理・活用
- 埋蔵文化財に関する研修（専門研修・埋蔵文化財基礎研修）
- 調査成果の普及活用（心に残る文化財子ども塾・文化財講座・講演会など）

## 設立年月日

1992年（平成4）4月1日

## 所在地

〒690-0131 島根県松江市打出町33番地

電話：0852-36-8608

FAX：0852-36-8025

Eメール：maibun@pref.shimane.lg.jp

ホームページ：<https://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

## 施設の構造

収蔵庫棟：鉄骨造二階建 1990年（平成2）6月竣工 建面積896㎡

本館棟：鉄筋コンクリート造平屋建 1992年（平成4）3月竣工 建面積2,911㎡

ブローラー庫：鉄筋コンクリート造平屋建 1992年（平成4）3月竣工 建面積11㎡

いにしえ学習館棟：鉄骨造三階建 1997年（平成9）3月竣工 建面積1,317㎡

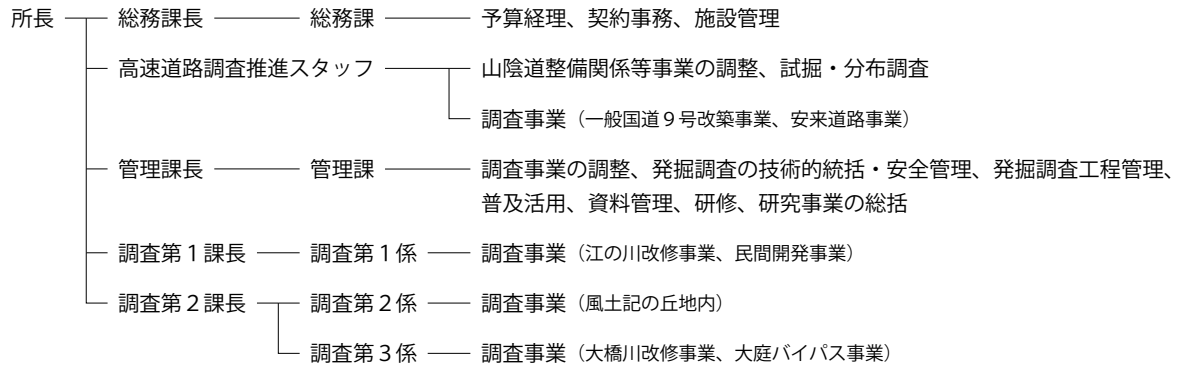
施設と規模

本館棟	展示室	175㎡	収蔵庫棟	収蔵庫	1,448㎡
	研修室	155㎡		機材庫・車庫	172㎡
	所長室	25㎡		小計	1,620㎡
	事務室・調査研究室	315㎡	いにしえ 学習館棟	体験学習室	95㎡
	図書室	73㎡		整理復元室	576㎡
	資料保管室	75㎡		木器保管展示室	197㎡
	特別収蔵室	122㎡		仮収蔵室（兼務写場）	86㎡
	写場	33㎡		収蔵庫	2,463㎡
	整理復元室	429㎡		その他	279㎡
	理化学分析室	35㎡		小計	3,696㎡
	鉄器処理室	35㎡	プロア庫	プロア庫	11㎡
	木器処理室	35㎡		小計	11㎡
	水洗室	70㎡			
	その他	973㎡		延床面積合計	7,877㎡
	小計	2,550㎡		敷地面積	20,980.61㎡

# I 令和4年度の調査体制

## 1 組織

島根県埋蔵文化財調査センター



## 2 職員一覧

職名	氏名
所長	熱田 貴保
総務課	
課長	坂根 祐二
主任（再任用） 会計年度任用職員一般事務	加藤 仁志 三島美葉子 岩成 真代 大前 孝之 大西 健
高速道路調査推進スタッフ	
調整監	池淵 俊一
企画幹	大庭 俊次
主幹	宮本 正保
主任主事	中川 寧
主任主事	真木 大空
会計年度任用職員調査員	松山 智弘
同 調査補助員	福田 市子 大田 晴美 飯塚 由起 糸賀 伸文
管理課	
課長	深田 浩
企画員	神柱 靖彦
企画員（兼）	澤田 正明
会計年度任用職員調査補助員	上山 晶子

職名	氏名
調査第1課	
課長	林 健亮
調査第1係長	仁木 聡
企画員	稲田 陽介
主任主事	鈴木 七奈
会計年度任用職員調査員	阿部 賢治
同 調査補助員	岩橋 康子 原 英誉 幸村 康子 渡邊 真二
調査第2課	
課長（調査第2係長取扱）	東山 信治
調査第3係長	伊藤 徳広
企画員	伊藤 智
主任（再任用）	椿 真治
主任主事	岩崎 孝平
会計年度任用職員調査員	柳浦 俊一
同 調査補助員	園山 薫 片寄 雪美 樋野 千晴 角森 玲子 米田美江子 阿部 智子

## II 埋蔵文化財活用事業

島根県埋蔵文化財調査センターでは、埋蔵文化財の保護を円滑に行うために調査成果の公開、県民や学校教育現場などへの普及活用事業を行っている。

### 1 埋蔵文化財調査センター講演会

島根県埋蔵文化財調査センターが実施している発掘調査の成果等を県民に分かりやすく情報発信する講演会で、年に一度島根県内において開催している。

令和4年度は出雲国府跡の国史跡指定50周年を記念した講演会を、以下のとおり開催した。

令和4年度島根県埋蔵文化財調査センター講演会「史跡指定50周年ここまでわかった出雲国府！」

日 時：令和4年9月4日（日）13：00～16：30（12：30開場）

会 場：松江市民活動センター（STICビル）交流ホール

参加者数：110名

主 催：島根県埋蔵文化財調査センター

共 催：松江市

内 容：基調講演「国府研究から見た出雲国府について」

大橋泰夫（島根大学）

報告1「発掘調査からわかった出雲国府のすがた」

吉松優希（島根県古代文化センター）

報告2「文献資料が語る国府と政庁のすがた」

吉松大志（宮内庁書陵部）

パネルディスカッション

コーディネーター 花谷 浩（出雲弥生の森博物館）

パネラー 大橋泰夫、箕田拓郎（倉吉市教育委員会）、吉松大志、吉松優希

### 2 現地説明会

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上、調査中の遺跡の一般公開、調査地近隣自治会への調査成果報告会等を行った。

遺跡名	開催日	場所	参加者数	備考
朝酌矢田Ⅱ遺跡	令和4年7月23日（土）	松江市朝酌町	25	
団原Ⅲ遺跡	令和4年8月20日（土）	松江市大庭町	12	地元自治会向け
小原遺跡	令和4年10月1日（土）	雲南市掛合町	12	地元自治会向け
松江城下町遺跡	令和4年10月8日（土）	松江市白潟本町	20	地元自治会向け
松江城下町遺跡	令和4年11月3日（木）	松江市魚町・白潟本町	132	
史跡出雲国府跡	令和4年11月19日（土）	松江市大草町	50	
本田竊跡	令和4年11月19日（土）	江津市松川町	12	地元自治会向け
松江城下町遺跡	令和4年11月30日（水）	松江市白潟本町	66	松江立中央小学校
松江城下町遺跡	令和4年12月18日（日）	松江市白潟本町	8	地元自治会向け



### 3 文化財講座『いにしえ倶楽部』

埋蔵文化財をより身近に感じてもらうことを目的とし、調査の成果や当センターで保管している出土品などを活用して開催するイベント。今年度は親子等を対象とし体験的な活動を中心とした催しとして「いにしえ倶楽部 夏休み子供スペシャル」を1回実施した。また歴史や文化財に興味関心のある一般の方を対象とした講義形式での講座「いにしえ倶楽部 連続講座」を3回行った。

#### 【夏休み子どもスペシャル】

タイトル	実施日	会場	内容	参加者数
きみも古墳の石室を作ろう！	8月21日(日)	埋蔵文化財調査センター研修室	石棺式石室ペーパークラフト作り	25名

#### 【いにしえ倶楽部連続講座】

演題	実施日	講師	参加者数
しまねの岸辺を掘る！	令和4年7月31日(日)	仁木 聡、岩崎孝平、真木大空	36
発掘調査最前線 ―よみがえる古代の江津―	令和4年11月31日(日)	仁木 聡、真木大空、鈴木七奈	20
名もなき遺跡から見た出雲国府の成立	令和5年3月5日(日)	樫 真治	39

合計 95名

### 4 「ふるさと鳥根の遺物」貸出事業

当センターが保管している土器や石器を学校等へ貸出し、地域の歴史や文化財を学ぶための教材としている。

番号	貸出セット名(セット番号)	申請者	使用目的	貸出期間
1	弥生食卓セットA(12)	雲南市立阿井小学校	6年生社会科授業の教材	6月6日～10日
	弥生稲作セットA(15)			

1団体2セット

### 5 心に残る文化財子ども塾

県内の小中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に、埋蔵文化財を教材として、古代体験活動や遺跡見学を盛り込んだ出前授業を行った。

番号	学校名	実施日	対象学年	人数	テーマ	主な体験
1	松江市立美保中学校	5月18日(水)	特支	2	古代の人々の生活を体験しよう	古代食作り・火起こし
2	松江市立大野小学校	6月2日(木)	5・6	10	古代人の生活と埴輪に込められた思いを知る	埴輪作り
3	出雲市立国富小学校	6月3日(金)	6	32	埴輪の世界を知ろう	埴輪作り
4	松江市立損屋小学校	6月8日(水)	6	56	ふるさとの遺跡に行ってみよう	遺跡見学
5	松江市立大庭小学校	6月10日(金)	6	95	古代の生活・技術を体験してみよう	勾玉作り・火起こし
6	松江市立忌部小学校	6月13日(月)	6	17	学校周辺の遺跡と出雲の玉作り	勾玉作り
7	松江市立城北小学校	6月24日(金)	6	104	古代の松江と埴輪の世界	埴輪作り
8	浜田市立長浜小学校	6月24日(金)	6	47	浜田の古代としまねの玉作り	勾玉作り
9	松江市立義務教育学校八束学園	6月28日(火)	6	22	奈良時代の鳥根と古代のお金	和同開珎作り
10	奥出雲町立三沢小学校	6月28日(火)	5・6	10	町内の遺跡から遺跡を学ぶ	火起こし
11	松江市立湖南中学校	6月28日(火)	1	160	校区内の遺跡と松江の弥生時代	遺跡見学(中止)
12	鳥根県立出雲養護学校(大田分教室)	6月29日(水)	6	74	土笛の音色で古代の気分を感じよう	土笛づくり
13	松江市立中央小学校	6月30日(木)	6	50	奈良時代の鳥根と奈良の大仏	大仏パネル

## II 埋蔵文化財活用事業

番号	学校名	実施日	対象学年	人数	テーマ	主な体験
14	松江市立佐太小学校	7月1日(金)	6	19	奈良時代の島根と奈良の大仏	大仏パネル
15	安来市立赤江小学校	7月1日(金)	6	55	安来の古墳時代と埴輪	埴輪作り
16	松江市立朝酌小学校	7月4日(月)	6	11	朝酌の遺跡から歴史を学ぶ	遺跡見学
17	飯南町立頓原小学校	7月5日(火)	6	11	頓原の遺跡と古代の鏡	鏡作り
18	松江市立恵曇小学校	7月7日(木)	6	11	奈良の大仏と松江の奈良時代	大仏パネル
19	邑南町立瑞穂小学校	7月8日(金)	6	25	地域の歴史と奈良の大仏	大仏パネル
20	島根県立養護学校 (みらい分教室)	7月15日(金)	6 中学生	6	「奈良の大仏」の巨大さと人々の想い	大仏パネル
21	雲南市立阿用小学校	9月1日(木)	5・6	13	奈良の大仏と古代のお金	大仏パネル・和同開珎作り
22	奥出雲町立鳥上小学校	9月9日(金)	5・6	9	古代の奥出雲町と奈良の大仏	大仏パネル
23	出雲市立南中学校	9月13日(火)	1	18	地域の歴史と弥生時代の土笛	土笛作り
24	出雲市立荒木小学校	10月5日(水)	6	56	古代の出雲と奈良の大仏	大仏パネル
25	益田市立中西小学校	10月14日(金)	6	12	地域の遺跡と古代のお金	遺跡見学・和同開珎作り
26	出雲市立多岐中学校	10月19日(水)	1	33	地域の遺跡を学ぶ	遺跡見学
27	江津市立江津中学校	11月25日(金)	特支	5	古代の埴輪と江津の歴史	埴輪作り
28	島根県立石見養護学校	11月29日(火)	小学部 中学部	2	古代の土器	土器作り

合計 28 校 のべ参加児童生徒 965 人

## 6 インターンシップ

学校及び希望者からの依頼を受け、大学生のインターンシップ受け入れを行った。

期間	学校等	実施内容
9月5日～8日	島根県立大学学生 1名、神戸学院大学学生 1名、 就実大学学生 1名	研修、活用事業、物整理作業、発掘調査等

## 7 教員のための博物館の日

当センターでは、県内小中学校教員等を対象とし、身近な地域に根ざした学習の創造に資するため地域の文化財や郷土の歴史資料等を活用した学習活動についての研修を島根県立古代出雲歴史博物館と共催で実施している。今年度もこれまでと同様に「教員のための博物館の日」として島根県立古代出雲歴史博物館と共催で実施した。

開催日：令和5年1月4日(水)及び5日(木) 13:00～15:00

主催：島根県埋蔵文化財調査センター・島根県立古代出雲歴史博物館

会場：古代出雲歴史博物館

参加者：6名(4日4名、5日2名)

内容：13:00～14:00 埋蔵文化財調査センター、古代出雲歴史博物館学校連携事業の概要説明  
14:10～15:00 ワークショップ(低融点と同開珎作り)

## 8 見学等の案内

当センターでは展示室は開庁時に希望者に対し見学受け入れを行っているほか、学校や各種団体等より事前申込みがあった際は整理作業や収蔵状況等の見学案内、古代体験活動、隣接する古墳の丘古曾志公園の案内を行っている。今年度は希望がなく、実施しなかった。

## 9 職員の講師派遣

各種団体等からの依頼を受け講演会や発掘調査指導のため職員派遣を行った。

派遣日	内容	場所	派遣依頼者	講師
令和4年5月20日	しまね・弥生古墳時代研究会	埋蔵文化財調査センター	しまね・弥生古墳時代研究会代表	中川 寧
令和4年5月22日	魚見塚古墳見学ほか	魚見塚古墳	くにびき学園 31 期生	岩崎孝平
令和4年8月1日	竹矢マスター養成講座	竹矢公民館及び周辺遺跡	竹矢地区教育会会長	深田 浩
令和4年8月6日	史跡出雲玉作跡指定 100 周年 記念連続講演会	玉湯公民館	松江市長	深田 浩
令和4年10月16日	「斐伊川の古代と暮らし展」 展示解説	奥出雲多根自然博物館	特定非営利活動法人さくらおろ ちほか	伊藤徳広
令和4年10月29日	特別展にかかる講演会	鹿島ふれあい館	松江市長	池淵俊一
令和4年12月16日	まつえ市民大学	松江市民活動センター	まつえ市民大学学長	深田 浩
令和4年12月17日	古代官衙・集落研究集会	奈良文化財研究所	奈良文化財研究所長	林 健亮
令和5年1月11・12日	西新町遺跡出土品整理指導	九州歴史資料館	福岡県教育委員会教育長	池淵俊一・松山智弘
令和5年3月11日	風土記の丘教室講演	八雲立風土記の丘	八雲立風土記の丘所長	真木大空
令和5年3月29日	奥出雲町八代穴観 1 号墳の 3D 測量の成果	布勢コミュニティーセン ター	大人山の歴史を語る会代表	岩崎孝平

## 10 その他

来島地区文化祭への参加

主 催：来島地区文化祭実行委員会

期 日：令和4年11月13日（日）

会 場：来島公民館

内 容：低融点金属による和同開珎作り、缶バッジ作り

## 11 資料の貸出・調査等

### (1) 資料調査（令和4年1月4日～12月28日までに申請があったもの）

研究や展示借用の事前調査など、資料の詳細観察に関して応じている。

令和3年度1月～3月

番号	資料名	点数	申請者	月日
1	上府遺跡出土土器ほか	7	浜田市教育委員会職員	1月28日
2	蔵小路西遺跡出土土器ほか	78+コン テナ12箱	奈良文化財研究所職員	3月17日

令和4年度

番号	資料名	点数	申請者	月日
3	門遺跡出土遺物ほか	14	埋蔵文化財調査センター職員	4月20日～4月28日
4	森原下ノ原遺跡出土土器	47	埋蔵文化財調査センター職員	4月21日～5月6日
5	尼寺原遺跡出土鉄滓ほか	5	古代文化センター職員	4月25日～4月27日
6	森原下ノ原遺跡出土土器ほか	73	埋蔵文化財調査センター職員	5月11日～5月31日
7	下山遺跡出土縄文土器ほか	211	同志社大学学生	5月16日～5月17日
8	富田川河床遺跡出土銭貨	410	古代文化センター職員	5月18日～5月24日
9	出雲国府跡出土小札	17	元興寺文化財研究所職員	5月26日～5月27日
10	馬場遺跡出土鉄釘	63	九州歴史資料館職員	5月26日～5月27日
11	社日1号墳出土ヤリガンナほか	90	出雲弥生の森博物館職員	6月1日

## II 埋蔵文化財活用事業

番号	資料名	点数	申請者	月日
12	山持遺跡出土土器ほか	54 件	埋蔵文化財調査センター職員	6月1日～9月30日
13	布田遺跡出土石剣ほか	15 件	松江歴史館職員	6月6日
14	門遺跡出土土器ほか	26	古代文化センター職員	6月8日
15	山持遺跡出土土器ほか	44	古代出雲歴史博物館職員	6月10日
16	門遺跡出土土器ほか	71	古代文化センター職員	6月10日～7月29日
17	新宮党館跡出土墓石ほか	18	出雲弥生の森博物館職員	7月13日
18	山持遺跡出土土器ほか	14	埋蔵文化財調査センター職員	7月15日～7月29日
19	出雲国府跡出土漆紙文書ほか	402	松江歴史館職員ほか	7月26日
20	森原下ノ原遺跡出土鉄釘ほか	20	古代文化センター職員	7月26日～7月29日
21	東船遺跡出土土器ほか	44	古代文化センター職員	7月28日～7月29日
22	山持遺跡出土木簡ほか	22	早稲田大学教授ほか	8月5日
23	田淵遺跡出土土器	25	埋蔵文化財調査センター職員	8月12日
24	出雲国府跡出土平玉ほか	7	古代文化財センター職員	8月12日
25	兵庫遺跡出土土器ほか	57	古代文化センター職員	9月30日～10月3日
26	柳遺跡出土土器ほか	13	埋蔵文化財調査センター職員	10月3日～10月9日
27	沖手遺跡出土土器ほか	251	埋蔵文化財調査センター職員	10月4日～10月5日
28	馬場遺跡出土土器	43	荒神谷博物館職員	10月11日
29	五反田1号墳出土埴輪	60+コンテナ6箱	埋蔵文化財調査センター職員	10月18日～3月31日
30	富田川河床遺跡出土土製品	1	埋蔵文化財調査センター職員	10月20日～11月7日
31	馬場遺跡出土鉄釘	63	九州歴史資料館職員	10月27日～10月29日
32	森原下ノ原遺跡出土石器ほか	9	古代文化センター職員	10月28日～10月31日
33	門遺跡出土土器ほか	71	古代文化センター職員	10月31日～12月26日
34	西川津遺跡出土土器ほか	14	島根大学教授	11月10日
35	寺の脇遺跡出土石器ほか	28	愛媛大学准教授ほか	11月9日～11月10日
36	門生黒谷II遺跡出土土器ほか	75	出雲弥生の森博物館職員	11月16日
37	東船遺跡出土土器ほか	73	古代文化センター職員	11月18日
38	門遺跡出土鉄器	35	古代文化センター職員	11月18日～11月25日
39	西川津遺跡出土木器ほか	7	東京大学学生	12月20日
40	平所遺跡出土土器ほか	3	埋蔵文化財調査センター職員	12月22日～12月28日

### (2) 写真資料等（令和4年1月4日～12月28日までに申請があったもの）

単行本、雑誌、展示図録等の写真の掲載に応じている。

令和3年度1月～3月

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
1	荒神谷遺跡銅剣	8	出雲市文化財課	模倣品修復資料	1月4日
2	西川津遺跡出土鉄未成品	1	立命館大学大学院	試験過去問題閲覧用	1月5日
3	山代二子塚出土埴輪ほか	8	島根県文化財課	パンフレット掲載	1月13日
4	朝酌矢田II遺跡空撮画像ほか	3	文化庁文化財二課	冊子掲載	1月20日
5	山代二子塚出土埴輪ほか	1	島根県文化財課	パンフレット掲載	1月20日
6	西川津遺跡出土土笛ほか	1	個人	書籍掲載	2月4日
7	普源田砦跡建物跡ほか	4	古代文化センター職員	新聞連載	2月14日
8	中祖遺跡出土遺物ほか	5	古代文化センター職員	講座資料	2月15日
9	沖手遺跡出土土器ほか	2	古代出雲歴史博物館職員	講演	2月20日
10	国ヶ峠遺跡 SX1	1	古代文化センター職員	新聞連載	2月21日
11	出雲国府空撮画像ほか	4	古代出雲歴史博物館	企画展	2月21日
12	山持遺跡出土土器ほか	14	檀原考古学研究所付属博物館	企画展	2月22日
13	板屋III遺跡出土土器群	1	島根県文化財課	パンフレット掲載	2月23日

番号	資料名	点数	申請者	月日	
14	原の前遺跡出土人形	1	松江市埋蔵文化財調査室	市報に掲載	2月25日
15	富田川河床遺跡建物跡ほか	2	松江市松江城調査研究室	冊子掲載	3月3日
16	中原遺跡本場ほか	12	古代文化センター職員	講演会	3月7日
17	山持遺跡出土瓦塔ほか	2	個人	冊子掲載	3月8日
18	山持遺跡出土土器ほか	3	古代文化センター	シンポジウム	3月9日
19	荒神谷遺跡出土銅剣ほか	2	株式会社ゴッズダイナミックワールド	テレビ番組	3月14日
20	板屋Ⅲ遺跡土層断面	1	古代文化センター職員	新聞掲載	3月30日

令和4年度

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
1	荒神谷遺跡出土銅剣	1	株式会社はる制作室	書籍掲載	4月19日
2	古志本郷遺跡出土羽口ほか	2	雲南市たたらプロジェクト会議	冊子掲載	5月16日
3	三田谷Ⅰ遺跡出土カマド	1	宮崎県立西都原考古博物館	企画展	5月18日
4	古志本郷遺跡出土土器	7	個人	書籍掲載	5月25日
5	五反配遺跡出土木製品	2	青谷上寺地遺跡展示館	パネル掲載	6月6日
6	四王寺出土螺髪	1	松江市松江城・資料調査課	書籍掲載	6月10日
7	西川津遺跡出土土笛ほか	5	荒神谷博物館	企画展	6月20日
8	加茂岩倉遺跡出土銅鐸	1	古代文化センター職員	新聞連載	6月21日
9	山代原古墳石室	1	株式会社雄山閣	雑誌掲載	6月22日
10	社日Ⅰ号墳出土ヤリガンナほか	6	出雲弥生の森博物館	企画展	6月24日
11	出雲国府跡位置図ほか	2	株式会社KADOKAWA	書籍掲載	6月24日
12	荒神谷遺跡銅鐸・銅矛出土状況	1	株式会社世界思想社教学社	書籍掲載	7月6日
13	荒神谷遺跡銅鐸・銅矛出土状況ほか	2	東京書籍株式会社	教科書掲載	7月6日
14	上塩冶横穴墓群遠景	1	古代歴史文化協議会	図録掲載	7月8日
15	西川津遺跡出土土笛ほか	24	個人	講演	7月8日
16	加茂岩倉遺跡出土銅鐸	1	安土城考古博物館	企画展	7月12日
17	板屋Ⅲ遺跡土層断面	1	島根大学総合博物館	企画展	7月29日
18	大志戸Ⅱ遺跡3号炉	1	雲南市たたらプロジェクト会議	冊子掲載	8月10日
19	板屋Ⅲ遺跡土層断面ほか	2	読売新聞大阪本社	新聞掲載	9月7日
20	下山遺跡出土土偶	1	柏書房株式会社	書籍掲載	9月12日
21	岩屋遺跡空撮画像ほか	2	松江市玉作資料館	企画展	9月12日
22	出雲国府空撮画像ほか	4	松江歴史館	企画展	9月20日
23	原田遺跡出土土器ほか	62	奥出雲多根自然博物館	企画展	9月30日
24	上塩冶横穴墓群遠景ほか	2	古代歴史文化協議会	企画展	9月30日
25	西川津遺跡出土骨角器	1	株式会社プランニングアドゥ	書籍掲載	9月30日
26	岩屋遺跡出土平玉ほか	4	出雲弥生の森博物館	企画展	11月7日
27	西川津遺跡出土土笛ほか	1	株式会社ゆまに書房	書籍掲載	11月7日
28	馬場遺跡出土土器ほか	44	荒神谷博物館	企画展	11月9日
29	荒神谷遺跡出土銅鐸ほか	6	個人	雑誌掲載	11月21日
30	出雲国府出土小札	1	八雲立つ風土記の丘	広報	11月21日
31	西川津遺跡出土石錘	2	九州歴史資料館	冊子掲載	12月13日
32	朝酌矢田Ⅱ遺跡報道発表資料	一式	株式会社ジャパン通信情報センター	雑誌掲載	12月13日
33	朝酌矢田Ⅱ遺跡空撮画像ほか	3	古代文化センター	シンポジウム	12月15日
34	荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	サイバー・ネット・コミュニケーションズ株式会社	教科書掲載	12月19日
35	姫原西遺跡出土木製品	1	株式会社吉川弘文館	書籍掲載	12月19日
36	社日古墳出土石杵実測図ほか	2	個人	雑誌掲載	12月20日
37	出雲国府跡出土小札	1	古代文化センター職員	新聞連載ほか	12月20日
38	荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	サイバー・ネット・コミュニケーションズ株式会社	書籍掲載	12月26日
39	荒神谷遺跡出土銅剣ほか	1	出雲市文化財課	遺跡説明版	12月26日

## II 埋蔵文化財活用事業

### (3) 資料貸出（令和4年1月4日～12月28日までに申請があったもの）

所蔵する資料を有効に活用するために、外部からの依頼に応じて貸出しを行っている。

令和3年度1月～3月

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
1	常楽寺柿木田Ⅰ号墳出土甕	1	出雲弥生の森博物館	企画展	2月15日～6月17日
2	山持遺跡出土板絵ほか	75	古代出雲歴史博物館	企画展	2月14日～6月17日
3	原田遺跡出土旧石器ほか	108	榎原考古学研究所附属博物館	企画展	3月1日～6月27日

令和4年度4月～12月

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
1	荒神谷遺跡出土土器ほか	13	荒神谷博物館	常設展	4月1日～3月31日
2	大東高校グラウンド遺跡出土玉未製品	4	松江市立出雲玉作資料館	常設展	4月1日～3月31日
3	原田遺跡出土縄文土器ほか	17	国立歴史民俗博物館	常設展	4月1日～3月31日
4	才の峠遺跡出土須恵器ほか	609	八雲立つ風土記の丘	常設展	4月1日～3月31日
5	古志本郷遺跡出土土器ほか	280	出雲弥生の森博物館	常設展	4月1日～3月31日
6	板屋Ⅲ遺跡出土縄文土器ほか	21	島根県立三瓶自然館	常設展	4月1日～3月31日
7	石見銀山遺跡出土土壁	1	大田市教育委員会	常設展	4月1日～3月31日
8	今佐山遺跡出土砂鉄ほか	2	和鋼博物館	常設展	4月1日～3月31日
9	前立山遺跡出土土器ほか	221	吉賀町教育委員会	常設展	4月1日～3月31日
10	原田遺跡出土石斧ほか	1,574	古代出雲歴史博物館	常設展	4月1日～3月31日
11	東淵寺古墳出土円筒埴輪ほか	13	八雲立つ風土記の丘	企画展	4月20日～6月20日
12	上野1号墳出土埴輪ほか	4	古代出雲歴史博物館	企画展	6月14日～9月20日
13	青木遺跡出土木簡ほか	18	八雲立つ風土記の丘	企画展	6月15日～9月2日
14	堂ノ上遺跡出土土器ほか	8	荒神谷博物館	企画展	6月21日～9月16日
15	刈捨古墳出土破鏡ほか	15	出雲弥生の森博物館	企画展	7月1日～10月31日
16	布田遺跡出土漆塗土器ほか	207	松江歴史館	企画展	7月26日～12月19日
17	四王寺出土螺髪ほか	9	島根県立美術館	企画展	8月20日～11月20日
18	上野Ⅰ号墳出土埴輪ほか	46	出雲弥生の森博物館	企画展	10月6日～2月18日
19	静間城跡出土基石ほか	30	石見銀山世界遺産センター	企画展	10月21日～2月4日
20	沢下6号墓出土磨石	1	出雲弥生の森博物館	企画展	11月9日～2月18日
21	若宮谷遺跡出土土器ほか	6	大橋川コミュニティセンター	展示	11月22日～3月31日
22	富田川河床遺跡出土銃鉄	1	出雲弥生の森博物館	企画展	12月6日～3月17日
23	塚山古墳出土土器	1	八雲立つ風土記の丘	常設展	12月25日～3月31日

### (4) その他

所蔵する機材や物品の貸出しに応じている。今年度は希望がなく、貸出しは実施しなかった。

### (5) 埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数

当センターの事業内容や現地説明会、講演会などの情報を多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する興味と理解を高めることを目的にホームページを開設・運用している。

2023年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
アクセス数	1,514	1,350	1,174	1,478	1,535	1,256	1,681	3,184	2,285	1,452	1,506	1,107	19,522

## 12 埋蔵文化財調査センター開設 30周年事業

当センターの開設 30 周年を記念し、以下のとおり、古代出雲歴史博物館において展覧会を企画・開催した。また、センターのホームページで 30 年の発掘調査を振りかえるリレーコラムを掲載した。

### (1) 展覧会の開催

展覧会名	島根県埋蔵文化財調査センター開設 30 周年展 「私たちが掘りました！ ～しまねの発掘調査 30 年～」
会 期	2022（令和 4）年 12 月 27（火）～ 2023（令和 5）年 2 月 12 日（日） 47 日間
会 場	島根県立古代出雲歴史博物館 特別展示室（一部、常設展示室）
主 催	島根県埋蔵文化財調査センター／島根県立古代出雲歴史博物館
観覧者数	6,682 人
展示構成	第 1 章 埋文センターの歩みと発掘調査 第 2 章 調査員が語るしまねの発掘調査 第 3 章 発掘調査だけじゃない！ 調査成果の公開・活用も 30 年
刊 行 物	ドキ土器まいぶん特別号『調査員が語るしまねの発掘調査ガイドブック』
関連講座・イベント	

#### ① 関連講座

第 1 回 「島根県埋蔵文化財調査センター開設と調査 ～昭和時代の終わりから平成時代前期の動き～」

日 時：1 月 14 日（土）10:00～11:30

講 師：卜部吉博氏（元島根県埋蔵文化財調査センター所長）

聴講者：29 人（オンライン 25 人）

第 2 回 「私たちが掘りました しまねの発掘調査 30 年 ～平成時代後半から令和～」

日 時：2 月 4 日（土）10:00～11:30

講 師：廣江耕史氏（元島根県埋蔵文化財調査センター所長）

聴講者：24 人（オンライン 28 人）

#### ② ギャラリートーク

センター職員による展示解説

第 1 回 1 月 14 日（土）14:00～15:00 参加者：16 人

第 2 回 2 月 4 日（土）14:00～15:00 参加者：19 人

#### ③ イベント

埋文センターオリジナル「石棺式石室ペーパークラフト」に挑戦！

日 時：1 月 7 日（土）13:00～

※大雪のため中止

### (2) リレーコラム「調査員が語るしまねの発掘調査 1992-2022」

センターのホームページで 30 年の発掘調査を振りかえる調査員のリレーコラム（全 37 回）を掲載した。

## Ⅲ 研究事業

島根県古代文化センターの研究事業のうち、基礎研究「考古資料基礎調査研究事業」、基礎研究「風土記調査研究事業」及びテーマ研究について、以下のとおり当センター職員も参画し、共同研究の一翼を担った。

調査事業名	細業	当センターの担当者
考古基礎資料調査研究事業：墓制調査	①前期古墳調査	池淵・東山・伊藤徳広・仁木・岩崎
	②風土記の丘地内の古墳調査	
考古基礎資料調査研究事業：基礎資料収集調査	①出土品再整理	深田・稲田・椿・真木・鈴木
考古基礎資料調査研究事業：生産遺跡調査	①古代窯業生産	上山
	②近世近代在地陶磁器調査	
テーマ研究	古代出雲と吉備の交流	岩崎・真木
	近世近代の交通と地域社会経済	熱田
	古代隠岐の形成と特質	神柱
	島根県域における弥生社会の総合的研究	深田・宮本・鈴木・上山
	前期古墳の研究	仁木・伊藤徳広
	鋳物と鋳物師の研究	東山

## Ⅳ 研修事業

### 1 埋蔵文化財基礎研修

島根県及び県内市町村教育委員会等の埋蔵文化財担当職員のうち、埋蔵文化財調査未経験者又は初心者を対象とした基礎的な研修。今年度は下記のとおり実施した。

#### 【埋蔵文化財基礎講座】

日 時：令和4年4月18日（月）～4月22日（金）

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室、いにしえ学習館体験学習室ほか

参 加：松江市埋蔵文化財調査課2名、雲南市教育委員会1名、江津市教育委員会1名（4月18日・22日のみ）、奥出雲町教育委員会1名 合計5名

講 師：島根県教育庁文化財課職員及び埋蔵文化財調査センター職員

内 容：（1）島根県埋蔵文化財調査センター所長講話  
（2）文化財保護法行政の歩みと文化財行政の現状  
（3）埋蔵文化財保護行政の事務手続き  
（4）発掘調査に関連した諸科学  
（5）考古学概説Ⅰ 旧石器時代・縄文時代  
（6）考古学概説Ⅱ 弥生時代



- (7) 考古学概説Ⅲ 古墳時代
- (8) 考古学概説Ⅳ 奈良・平安時代
- (9) 考古学概説Ⅴ 中近世
- (10) 遺構・遺物の実測概論・実習
- (11) 文化財写真概論・実習
- (12) 報告書の作成と収蔵・活用
- (13) 発掘調査の計画と安全管理

#### 【実技講座Ⅰ】

日 時：令和4年6月2日（木）・6月3日（金）

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室、古墳の丘古曾志公園、朝酌矢田Ⅱ遺跡

参 加：松江市埋蔵文化財調査課2名（6月2日のみ）、雲南市教育委員会1名、奥出雲町教育委員会1名 合計4名

講 師：埋蔵文化財調査センター職員

内 容：(1) 測定の基礎・土層の認識  
 (2) 実測実習Ⅰ レベル・トータルステーション・平板の取扱い  
 (3) 実測実習Ⅱ 遺構測量  
 (4) 実測実習Ⅲ 遺構測量  
 (5) 実測実習Ⅳ 調査現場での断面図等作成

#### 【実技講座Ⅱ】

日 時：令和4年7月26日（火）～10月28日（金）うち37日間参加

場 所：小原遺跡（雲南市掛合町）

参 加：雲南市教育委員会1名

講 師：埋蔵文化財調査センター職員

内 容：発掘調査現場での現地実習

#### 【実技講座Ⅲ】

日 時：令和5年1月23日（月）・1月24日（火）

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：松江市埋蔵文化財調査課2名、雲南市教育委員会1名、江津市教育委員会2名、奥出雲町教育委員会1名 合計6名

講 師：埋蔵文化財調査センター職員

内 容：(1) 報告書作成の意義  
 (2) 報告書の構成と記載事項  
 (3) 発掘記録類の基礎整理  
 (4) 遺物の実測実習（石器）  
 (5) DTPによる報告書作成の基礎知識  
 (6) 報告書作成の技術ーデジタルトレースと図版作成実習ー  
 (7) 3次元計測の基礎知識  
 (8) 報告書の印刷

## 2 埋蔵文化財専門研修

島根県及び県内市町村埋蔵文化財担当者を対象とし、埋蔵文化財発掘調査に必要な専門知識や技術の習得を目的とした研修を実施した。

### 【第1回】

日 時：令和4年6月27日（月）10:00～15:00

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：市町村職員8名

テーマ：令和3年度県内遺跡発掘調査報告会

報告1「松江市・朝酌矢田Ⅱ遺跡の調査」

岩崎孝平（埋蔵文化財調査センター主任主事）

報告2「松江市・松江城下町遺跡白瀉地区の調査」

東山信治（埋蔵文化財調査センター調査第二課長）

報告3「江津市・森原下ノ原遺跡の調査」

仁木 聡（埋蔵文化財調査センター調査第一係長）

報告4「松江市・乃木西廻遺跡の調査」

江川幸子（公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団調査員）

報告5「松江市・布志名焼窯跡群の調査」

小山泰生（公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団調査係長）

報告6「出雲市・常楽寺柿木田1号墳の調査」

幡中光輔（出雲市文化財課主任）

### 【第2回】

日 時：令和4年12月16日（金）13:30～16:00

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：市町村職員6名（うちオンライン受講2名）

テーマ：たたらの実像を探るー山陰の製鉄遺跡ー

講師 角田徳幸（島根県古代文化センター長）

### 【第3回】

日 時：令和5年3月10日（金）13:00～16:30

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：市町村職員1名、鳥取県埋蔵文化財調査センター職員1名、（公財）鳥取県教育文化財団職員1名（いずれもオンライン受講）

テーマ：令和4年度県内遺跡発掘調査報告会

報告1「江津市・本田窯跡の調査」

鈴木七奈（埋蔵文化財調査センター主任主事）

報告2「雲南市・小原遺跡の調査」

稲田陽介（埋蔵文化財調査センター企画員）

報告3「安来市・五反田1号墳の調査」

松山智弘（埋蔵文化財調査センター調査員）

報告4「松江市・史跡出雲国府跡の調査」

岩崎孝平（埋蔵文化財調査センター主任主事）

報告5「益田市・スクモ塚古墳の調査」

林 弘幸（益田市教育委員会文化財課副主任主事）

## V 会議・講習会等参加

当センターが加盟している全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会の総会・研修会が開催されたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため参加を取り止めた。また、中国・四国・九州ブロック会議を島根県で開催した。

### 【総会】

開催日：令和4年6月9日（木）・10日（金）

開催地：沖縄県那覇市 ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城

### 【研修会】

開催日：令和4年10月20日（木）・21日（金）

開催地：北海道江別市 北海道立埋蔵文化財センター研修室

### 【中国・四国・九州ブロック会議】

開催日：令和4年12月1日（木）・2日（金）

開催地：島根県民会館 307 会議室

参加者：12 機関 14 名（島根県を除く）

議 事：1 役員について

2 次回ブロック会議開催地について

3 協議事項

- ・活用事業・情報発信事業
- ・出土品・調査資料の管理
- ・埋蔵文化財保護行政
- ・埋蔵文化財センターの展示施設
- ・調査研究事業・研修事業
- ・発掘現場・整理作業現場の運営
- ・大規模災害時の体制

施設見学：島根県立古代出雲歴史博物館 企画展『出雲と吉備』を視察

## VI 発掘調査事業

### 受託事業

令和4年度は7事業12遺跡の本発掘調査を行った。事業の内訳は一般国道9号改築事業及び江の川改修事業、大橋川改修事業、安来道路4車線化事業、県事業の国道432号大庭バイパス建設事業、民間開発事業である。

静岡仁摩道路予定地内では、大田市城乃内遺跡から黒曜石製石鏃や弥生土器、須恵器等が出土した。福光浅利道路予定地内では、江津市高丸遺跡で土師器、須恵器や近世陶磁器が出土した。

江の川改修予定地内では、江津市本田窯跡から明治～昭和期にかけて操業された石見焼登り窯とその作業場を調査した。同市千本崎城跡では、中世陶磁器や古銭が出土した。大橋川改修予定地内では、朝酌地区の松江市朝酌矢田Ⅱ遺跡で弥生時代中期の墓坑群を確認した。白湯地区の松江城下町遺跡（魚町6-4外）では、近世の宍道湖護岸の石垣等を確認した。松江城下町遺跡（白湯本町4外・魚町109外）では、基盤層から中世の護岸状石組や近世初頭の大型掘立柱建物跡が検出され注目される。松江城下町遺跡（和多見町172外）では、近世後期の礎石状石列を確認した。安来道路4車線化事業では、安来市五反田1号墳で古墳時代前期の竪穴式石槨を調査した。

大庭バイパス建設予定地内では、松江市团原Ⅲ遺跡で近世以降の鍛冶炉跡や須恵器、古代瓦等が出土した。民間開発事業では、出雲市高城跡で中世の山城遺構を調査した。雲南市小原遺跡では、尾根上に立地する古墳時代前期の方墳4基を調査した。

### 学術調査

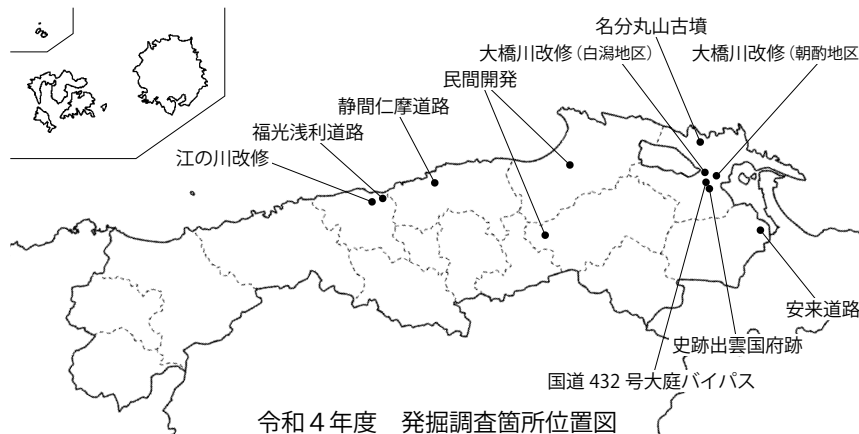
史跡出雲国府跡では政庁域の調査を行い、前殿とみられる建物跡の柱穴を2か所で確認した。また建物跡の上層で石敷き遺構を確認するなど、政庁域における施設配置を検討するうえで重要な資料を得られた。墓制調査では、松江市名分丸山古墳を調査し、墳丘形態や2基の埋葬施設、墳丘の築造方法を確認するなど、出現期の前方後方墳の様相が明らかとなった。

### 分布調査

今年度は、益田西道路・益田田万川道路建設予定地内、出雲湖陵・湖陵多伎道路建設予定地内、松江北道路建設予定地内、国道431号改築工事予定地内、民間開発事業予定地内の分布調査を実施した。

### 報告書作成

今年度は、江の川改修の森原下ノ原遺跡、福光浅利道路の高丸遺跡及び下和田遺跡、静岡仁摩道路の城乃内遺跡、学術調査を行った史跡出雲国府跡の調査報告書を刊行した。



令和4年度 発掘調査箇所位置図

## 1 一般国道9号(静岡仁摩道路)改築工事に伴う発掘調査

**調査概要** この調査は、国土交通省中国地方整備局松江国道事務所から委託を受けて令和4年度に実施した。調査対象遺跡は城乃内遺跡である。



城乃内遺跡位置図 (1/25,000 大浦・仁万)

### 城乃内遺跡

本遺跡は大田市仁摩町宅野に所在する。大田市仁摩町の北部を流れる宅野川上流域に位置し、標高約70mの緩斜面に立地する。調査期間は令和4年5月25日から同年8月5日、調査対象面積

は290㎡、調査体制は調査員1名、会計年度任用職員調査員1名、同調査補助員1名である。

**遺構の概要** 土坑3、ピット32基を確認した。土坑はいずれも調査区西部で検出している。平面形は楕円形もしくは隅丸方形と考えられ、後世の地形改変などのため上部を失っているものもあるが、径又は一辺がおよそ1.5m、深さは同じく1mに復元できるとみられる。壁面や底面に粘土が認められ、貯水のための施設と考えられるが、古墓の可能性もある。ピットは、調査区中央部から東部にかけて検出した。土坑とは逆に調査区西部では認められず、土坑の検出範囲とはほとんど重ならない。径はおよそ20cm、深さは同じく10cmと小規模なものがほとんどで、有意な配置は認められない。

遺構の時期は、土坑が出土遺物から近世のものともみられる。ピットは弥生土器ないし土師器片や、黒曜石の剥片が出土したものがあり、縄文時代・弥生時代に遡る可能性をもつものがある。

**遺物の概要** 遺物は量的にはわずかであるが、弥生土器、石鏃などの石器、黒曜石の剥片、土師器、須恵器、中世～近世の陶磁器が出土している。石鏃のうち安山岩製のもの(写真右端)は、その形態から縄文時代に遡るものとみられる。黒曜石の剥片はピット埋土のほか、調査区中央から東部にかけての遺構面直上で多数確認した。

**まとめ** 今回の調査では、縄文時代に遡るとみられる石鏃を確認し、宅野川流域においてもこの時期の遺跡が存在することが想定される。黒曜石剥片の出土状況から、この地域で狩猟を行った人々が城乃内遺跡で石鏃など石器の製作を行っていたことが考えられる。検出したピットは、その石器製作施設を示す可能性があり、この地域の歴史を考えるうえで貴重な資料を提供することができた。(宮本正保)



城乃内遺跡完掘状況(東から)



出土した石鏃

## 2 一般国道9号(福光浅利道路)改築工事に伴う発掘調査

**事業概要** この調査は、国土交通省浜田河川国道事務所から委託を受けて令和2年度から実施している。今年度は高丸遺跡の発掘調査を実施した。調査期間は令和4年7月15日から令和4年9月5日、調査対象面積は約400㎡、調査体制は調査員1名、会計年度任用職員調査補助員1名で実施した。

### 高丸遺跡

**調査概要** 高丸遺跡は江津市黒松町に所在し、今年度の調査箇所は標高11～14mの丘陵下方、倉谷川に向かう緩斜面に位置する。調査は令和2年度より行っており、3か年目である。今年度の調査区は令和2年度調査区の西側である。調査箇所は市道波積黒松線であり、市道部分に長方形の調査区を設定した。

調査区の南半分は市道の舗装を剥ぐとすぐに地山があり、市道建設の際に大きく削平されたと考えられる。令和2年度の土層観察用畦の延長線上に畦を設定し、土層の堆積順序を追認した。また、令和2年度の調査で確認した黒褐色土の範囲の西側を把握することができた。地山上面の斜面部で数基のピットがあるが、散在しており、建物にはならないと考えられる。このほか、市道に伴うと考えられる直線的な溝を確認した。出土量は少なく、細片ばかりである。近世陶磁器、土師器、須恵器が出土した。

**まとめ** 令和2年度調査区の西側を調査し、土層や地形の様相から、令和2年度調査区の成果を追認した。

3か年にわたって実施した高丸遺跡の調査による遺跡の変遷は以下のとおりである。

- 令和3年度調査区のある丘陵部の標高25～32mの落ち込みに堆積した暗褐色土から弥生後期中葉～古墳前期前葉の土器が出土した。この時期の土器は丘陵部で出土している。
- 古墳後期から奈良・平安時代の土器は遺跡の北側の調査区である令和2年度調査区で出土した。特に標高10～14mの黒褐色土から古墳後期の土器が出土した。また、奈良・平安時代の炭窯を2基確認した。うち1基は伏せ焼き式の炭窯で、11～12世紀のものである。遺跡の近隣を「古代山陰道」が通っている可能性を考えて調査を行ったが、調査区内に古代の道路に関する遺構は確認できなかった。
- 鎌倉時代・室町時代の土器は谷部を中心に出土した。江戸時代の土器は谷部で出土した。なお、丘陵部では江戸時代以降の土器が散発的に出土しており、畑による地形の改変に伴うと考えられる。

(中川 寧)



福光浅利道路遺跡位置図 (1/25,000 浅利)



高丸遺跡空撮画像

### 3 一級河川江の川直轄河川改修事業（太田地区）に伴う発掘調査

**事業概要** この調査は、国土交通省中国地方建設局浜田河川国道事務所から委託を受けて平成29年度から実施している。今年度は本田窯跡と千本崎城跡の発掘調査を行った。



#### (1) 本田窯跡

**調査概要** 本田窯跡は江津市松川町に所在する遺跡で、江の川右岸の標高約8mに位置する。調査期間は令和4年6月22日から11月18日で、調査対象面積は約2,400㎡、調査員1名、会計年度任用職員調査員1名、同調査補助員1名で着手し、必用に応じて人員を入替えながら実施した。

本田窯跡・千本崎城跡位置図（1/25,000 江津・浅利）

**遺構の概要** 本田窯跡は明治～昭和30年代に石見焼を生産した窯跡とその作業場からなる遺跡。連房式登り窯が残存していたがその大半は工事影響範囲外にあり、窯跡本体については1室分の調査にとどまった。室内には階段状の構造はなく丸物用の構造のままだったが、奥壁にはモミツチの痕跡が残り、最終操業は瓦だったことが判る。このほか、建物跡5棟以上、石垣・窯垣5条以上、土坑、物原などを検出した。特殊な遺構としては、水簸施設を検出している。水簸施設は、粘土を水漬けし上澄みを流すことによって陶土を精製する施設で、4基のコンクリート製升が連結されたもの、レンガで造った2基の升からなるもののほか、土層断面での観察のみとなったが、木製の升があったことも確認し、構造の変遷が確認できた。水簸施設自体は県内の窯業施設でも数例が知られるが、発掘調査での確認は県内で初めて。

**遺物の概要** 物原からは大量の石見焼甕・壺などの破損品や各種窯道具が出土した。また、少量の金属製品も出土した。船着き場の伝承がある川沿いの調査区ではガラス瓶なども出土し、物原の年代を推定できる可能性がある。

**まとめ** 本田窯跡では最終操業が瓦だったことが判明した一方、物原からの瓦の出土はほとんどなく、瓦の生産は限定的で、丸物を中心に操業していたことが判明した。本田窯跡では周辺に広く作業場が展開していたことが明らかになった。水簸施設の調査は県内でも初めてで、現存するものに比べ大型であることが認識できるほか、構造が変化していることを見ることができた。（林 健亮）



本田窯跡の調査地と江の川



本田窯跡の水簸施設

## (2) 千本崎城跡

**調査概要** 千本崎城跡は江津市松川町の江の川を見下ろす丘陵上に位置する遺跡。本田窯跡からは、約 200 m 東側に位置している。調査期間は令和 4 年 11 月 30 日から 12 月 27 日で、約 690㎡を調査対象とし、調査員 2 名、会計年度任用職員調査員 1 名、同調査補助員 1 名の体制で調査を実施した。

**遺構の概要** 調査地は東西に延びる尾根の北向きの斜面で、調査地の標高は約 30 m。

遺跡の大半を占める北向きの斜面では遺構・遺物は見られなかった。遺跡東側では近世末～近代の墓地により造成された平坦面が見られたが、この周辺では中世以前に遡る遺構は見られなかった。一方、遺跡西側の尾根先端では小さな平坦部が 2 か所あり、直径約 60cm の浅い土坑を検出した。この土坑からは遺物は出土しなかったため、時期、性格は不明である。

**遺物の概要** 遺跡東側の近世近代の墓地付近で花崗岩製の石塔部材が出土した。時期・器種は不明である。遺跡西側の平坦部近くでは焼締め陶器の破片がまとまって出土したほか、土師器小皿 1 点、銅銭 1 点が出土した。いずれも中世のものと考えられる。

**まとめ** 千本崎城跡の発掘調査では山城だったことを示す遺構・遺物は見られなかったが、中世に遡る遺物が出土しており、付近に 14 世紀頃の墓が存在した可能性がある。また、遺跡西側で出土した花崗岩製石塔の部材は、遺跡南側にある千本崎地藏堂層塔との関連もうかがわれる。

小札や灰被天目を始め、中世の遺物を多数出土した森原下ノ原遺跡は、千本崎城跡の調査地から南に見下ろす位置にある。また、近隣には江の川の渡し場とされる伝承地があり、中世～近世の石塔類が多く知られる地域となっている。さらに江の川右岸は近世には天領石見銀山領であることから、千本崎城跡の発掘調査で古墓が存在した可能性が指摘される点は地域の歴史を考えるうえで重要な資料を提供した。

(林 健亮)



千本崎城跡遠景（中央の低い丘陵）



千本崎城跡完掘状況（近景）



## 4 斐伊川水系大橋川河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

**事業概要** この調査は国土交通省出雲河川事務所から委託を受け、平成24～25年度にかけて竹矢地区で、平成30年度から朝酌町地区、令和3年度から上流部の白潟地区でも調査を開始した。今年度は朝酌地区で朝酌矢田Ⅱ遺跡、白潟地区で松江城下町遺跡3か所の発掘調査を行った。



遺跡位置図

### (1) 朝酌矢田Ⅱ遺跡 (E区)

**調査の概要** 現地調査は、令和4年5月23日から8月31日まで、面積450㎡を対象に調査員1名、会計年度任用職員調査員1名、同調査補助員1名で実施した。

**遺構等の概要** 調査地は畑や墓地の造成により、雛壇状の地形に改変されており、特に丘陵上は著しく削平されていたが、縄文時代前期から古墳時代終末期までの遺構や遺物が検出された。

縄文時代は、丘陵斜面下方部に前期や後期の土器片を含む包含層が堆積していたが、明確な遺構は検出できなかった。弥生時代前半期は、木棺墓4基と土坑墓1基からなる墓群が検出された。木棺墓の1基は配石木棺墓で、「ミニ支石墓」とでもいう標石構造をもつ。弥生時代後期前半は斜面部で建物(段状遺構)やガラス小玉2点を伴う土坑が検出された。副葬品等は出土していないが、木棺墓が1基検出され、弥生時代後期後半と考えている。丘陵上縁辺部には、古墳時代後期と考えられる溝状遺構が検出された。川原石約50個が堆積し、その直上に6世紀中頃の須恵器の大甕片多数と蓋坏片が数点出土したほか、弥生時代後期の甕片2点が出土した。古墳時代終末期は、丘陵斜面から裾部にかけて、カマド床を伴う建物跡や土坑が検出された。

このほかに、丘陵裾部で縄文時代と考えられる小規模な地滑り痕跡を2か所、丘陵中腹部では縄文時代以前と考えられる、大規模な地滑りと考えられる地山土層のズレが確認された。

**まとめ** 各時代の遺構が重複し、密度の高い遺跡であることから、この地が古代以前にも交通の要衝となる重要な地域であったと考えられる。また、同一場所が複数回も集落と墓域という異なる性格で土地利用される点も特徴である。(椿 真治)



朝酌矢田Ⅱ遺跡E区全景



弥生時代の配石木棺墓

## (2) 松江城下町遺跡(魚町6-4外)

**調査の概要** 本遺跡は松江市魚町に所在し、宍道湖岸に面した位置にある。現地表は標高 2.4 m 前後で、宍道湖の平均水位 0.4 m より 2 m 高い。昨年度は南側(1A区)の調査を実施しており、江戸時代以降の石垣群が検出されている。今年度はその北側(1B区)を対象としたが、調査区の境界部分は建物コンクリート基礎により遺構が失われており、遺構の連続性は部分的にしか確認できなかった。近代以前の魚町は、南北に走る道路に面した短冊形地割りの屋敷群で、西側の屋敷の背後は宍道湖岸となっていた。その旧湖岸は、調査区外となる現在の市道下に埋没しており、今回の調査でも検出は不可能であったが、それ以前の旧護岸石垣とそれに伴う屋敷跡を多数検出できた。

**遺構等の概要** 検出された屋敷跡と石垣護岸は、17世紀第2四半期頃の宍道湖埋立造成時(第1期)に構築され始め、その後17世紀末頃の屋敷拡大時(第2期)に護岸整備され、18世紀末～19世紀初頃の屋敷再拡大時(第3期)に再々整備されていることが判明した。また、江戸時代の屋敷地割りは、嵩上げを繰り返しつつも前代を踏襲する様子がうかがえ、最終的に明治初期に成立する地番境となる過程が把握できた。また、当初の屋敷造成自体も南側の屋敷が先行する可能性が高く、埋立造成は宍道湖側(西側)のみならず、大橋川方向(北側)へも行われている可能性が高い。

第1期は南側の屋敷ほど奥行きが長く、結果的に護岸石垣はクランク状となっている。石材は2番地は大海崎石が使用され、3番地は島石が使用されている。1番地の屋敷は遺構が失われていたが、未造成であった可能性もある。2番地の屋敷では炉跡や金床石などの鍛冶遺構が、多量の羽口や椀形鍛冶滓と共に検出され、作業面も5回以上の嵩上げが観察された。17世紀後半の火事図では、当該地は「かち久三郎屋敷」と記載され、「かち」=「鍛冶」と考えられる。3番地の屋敷には石敷き池が検出された。第2期はクランク状護岸が直線的に整備され、石材も島石に統一される。第3期は大海崎石によって大規模に整備されるが、数度の埋立によって徐々に整備された可能性もある。また、建物の基礎は来待石製の直方体石材に統一されるようである。なお、石垣の構築は屋敷単位で行われたようで、石材の規模や積み方が屋敷毎に異なる様子がうかがえた。

**まとめ** 今回調査した町屋敷は、全て宍道湖の埋立造成によって形成された遺構群である。これらは白潟地区に存在しない石材や造成土によって形成されたもので、石材のみならず造成土についても、その採土地の検討が必要となる。また、これら調査成果と文献や絵図等により、魚町の物理的成長過程の立体的復元や、社会的構造変化の様子を明らかにすることが課題となる。(椿 真治)



城下町遺跡(白潟地区)位置図



石垣と埋立て状況(北東から)

### (3) 松江城下町遺跡(白潟本町4外)(魚町109外)

**調査の概要** 今回の調査では調査区内に白潟本町と魚町の境界が存在するため、町毎に別遺跡として登録しているが、便宜上、2つの遺跡を合わせて「白潟2区」として調査を実施している。本調査区は松江大橋南詰に所在している。地表面は標高2.4mほどあり、北には大橋川が東流し、東には松江大橋につながる市道が南北に通っている。

**遺構の概要** 基本層序は、1層：表土、2層：近世の造成土、3層：15世紀前半～17世紀初頭の包含層、4層：黄白色砂層(白潟砂州)である。遺構は2層上面、3層及び4層上面から掘り込まれたもの、砂層内で確認されたものが存在する。

2層上面で確認された遺構は掘立柱建物跡や石列、井戸跡、鍛冶炉跡である。掘立柱建物跡は調査区の西側で検出している。1辺が4.2mで2間四方の建物跡で方位に軸をそろえている。中央に柱穴が確認できなかったため総柱建物ではない。各柱穴は50～90cmほどの大型の掘方で礎盤として石が据えられていた。高さや自重のある建物の沈下を防ぐために据えられたと考えられることから、建物の性格は堂宇や望楼などが考えられる。石列は現在の地割りとほぼ同位置で確認されていることから町屋を区画するものだと考えられる。井戸跡は7基以上確認されており、町屋の中庭に掘られていることが確認できた。その他、小鍛冶の炉跡が数基確認されている。2層上面で出土した遺物の年代は17世紀前半にほぼ限定されることから2層は堀尾氏が行った松江城下町の建設に伴う造成土であると考えられる。

3層から4層に掘り込まれた遺構は護岸跡、鍛冶炉跡、井戸跡、土器だまり、多数の柱穴などがある。護岸跡は、調査区の西側の先述した掘立柱建物跡の直下で確認されている。東西に軸をそろえ最大の長さが90cmほどの石を乱雑に1mほど積み上げたものである。大橋川へ傾斜する4層(砂層)が北側への流出するのを防ぐためのもので、中世の町の際に造られた護岸施設であると考えられる。鍛冶炉も多数検出されており、すべて小鍛冶に伴うものとみられる。井戸跡は素掘りと石積みのものであり、石積みの方が古い時期に造られている。土器だまりは完形の備前焼の壺とそれを被覆する瓦質土器の火鉢、土師器皿からなる遺構で、壺の中には古銭が十数枚と朶が残存していた。地鎮に関係した遺構の可能性もある。

4層内から確認された遺構は井戸跡である。石積みで平面が円形となる。円礫や垂円礫を用いている。井戸内から15世紀前半の青磁碗や備前焼の播鉢、鹿角が出土しており、本調査区で最も古い遺構と考えられる。

**遺物の概要** 出土遺物の時期は15世紀前半から19世紀であるが、主な時期は16世紀後半から17世紀前半である。青磁や白磁の碗などの輸入陶磁器、唐津焼の碗や皿、備前焼播鉢や壺、古瀬戸皿などの国産陶磁器、火鉢や香炉などの瓦質土器、羽口や鉄滓などの鍛冶関連遺物、青銅の鍵や古銭、鉄製の釘などの金属製品、石臼などの石製品、犬形などの土製品、漆塗り椀などの木製品、魚骨や獣骨、貝類などの動物遺存体等、多様な遺物が出土している。

**まとめ** 本遺跡の発掘調査で松江城下町遺跡のうち大橋川南岸の白潟地区で中世の遺構と多種多様な遺物が初めて確認された。これまで白潟には15世紀末には町が成立していたことや、16世紀には尼子と毛利の抗争で当地が戦場となったことなどが古文書研究で明らかとなっていた。今回の発掘調査で確認された最も古い遺構は15世紀前半の井戸跡で、その頃には当地に人が居住してい

た痕跡が確認された。また、16世紀後半の護岸施設は権力や財力の存在を想定できる大規模な遺構である。今回の発掘調査では地質学的な成果も上がっている。白潟には穴道湖東岸を南北に舌状に伸びる砂州の存在がこれまで指摘されてきた。今回確認された黄白色砂層の4層はこの「白潟砂州」と考えられる。今回の発掘調査ではその白潟砂州に中世の遺構が造られていることが明らかとなり、砂州の端を石積みの護岸で保護していることも確認された。今回の発掘調査により文献調査と地質学的調査の研究を追認することができた。他分野に渡って発掘調査の成果が活用され、松江の中世から近世の様相がさらに明らかとなることに期待したい。(伊藤徳広)



上空から見た松江城下町遺跡（北西から）



掘立柱建物跡（北東から）



石積み護岸施設（北西から）



青銅製鍵

#### (4) 松江城下町遺跡（和多見町 172 外）

**調査の概要** 本遺跡は松江市和多見町に所在し、大橋川に北面している。本調査区を「白潟5区」と呼称し、令和4年10月28日から11月30日にかけて、120㎡を発掘調査した。

**遺構等の概要** 表土下には近世以降の整地・造成土層が堆積しており、遺構として屋敷地境もしくは建物基礎と考えられる5条の石列などが検出された。遺物は18～19世紀の陶磁器のほか、木製品、金属製品などが出土した。

**まとめ** 出土遺物などからこの地点は18世紀以降造成されたことが分かった。石列から近世の図面に描かれたように町屋が建ち並んでいたことがうかがわれる。(東山信治)



松江城下町遺跡（和多見町 172 外）

## 5 国道 432 号大庭バイパス建設に伴う発掘調査

**事業概要** この調査は島根県土木部道路建設課から委託を受けて実施しており、今年度は、団原Ⅲ遺跡 1・2 区の調査を行った。調査期間は令和 4 年 5 月 24 日から 8 月 22 日、調査対象面積は 550㎡、調査員 1 名、会計年度任用職員調査補助員 1 名で実施した。



### 団原Ⅲ遺跡 (1・2 区)

**調査の概要** 本遺跡は松江市大庭町に所在し、標高 20 m の台地上に位置する。調査対象地は平坦地であったが、東側の 1 区と西側の 2 区に分けて発掘調査を行ったところ、本来は南東から北西へと下る地形であったことが分かった。1 区は近世後半の時期に地山 (暗黄褐色粘質土) まで削平されており、主な遺構は地山上で確認された。2 区では地山上に暗褐色粘質土 (地山漸移層)、さらにその上層に黒ボク土が確認され、黒ボク土の上面及び下面で遺構が検出された。遺構は、半地下式かまど状遺構 2 基、鍛冶炉跡 2 基、土坑 12 基、溝跡 3 条、段状遺構 1 か所、ピット 78 基が確認された。半地下式かまど状遺構は 1 区の東側で検出され、平面直径 1 m の円形、深さは 70cm であった。床面には来待石製切石が組まれていた。半地下式かまど状遺構の付近では、直径 30cm 及び 40cm の鍛冶炉跡 2 基も確認され、鉄製品の生産を行っていたとみられる。段状遺構は長さ 8 m、高さ 70cm で、1 区の北西隅から南東に向けて直線状に延びていた。段裾に沿って掘られた溝跡から、中世の陶器片が出土したことから、段状遺構及びその西側の遺構は中世に遡る可能性がある。2 区では、溝状遺構、ピットが確認された。ピットには礎板石が設置してあるものが 3 基あった。古代から中世の遺物 (須恵器、土師器、中世陶磁器片など) も若干あるが、多くは近世後半以降の陶磁器で、このほか後者に伴って鍛冶滓、羽口、鉄製品、瓦片などが出土した。

**まとめ** 近世後半以降の出土遺物が多いことや、半地下式かまど状遺構、鍛冶炉跡などの遺構からこの時期に活発な活動が行われたことがうかがわれる。この時期の地形改変の影響を受けたためか、中世以前の遺構・遺物があまり見られないが、段状遺構及びその西側で検出された遺構は中世まで遡る可能性がある。

(伊藤 智)



団原Ⅲ遺跡 (南上空から)



遺跡全景 (左: 2区 右: 1区)

## 6 安来道路4車線化事業に伴う発掘調査

**調査概要** この調査は、西日本高速道路株式会社中国支社松江高速道路事務所から委託を受けて令和4年度に実施した。調査対象遺跡は五反田古墳群及び門生黒谷Ⅲ遺跡で、平成6・7（1994・1995）年に実施した安来道路の建設に伴う発掘調査で大部分が調査済みである。今回は安来道路の4車線化事業に伴い、五反田古墳群のうち1号墳を中心に調査を実施した。

### 五反田古墳群・門生黒谷Ⅲ遺跡

両遺跡は安来市門生町に所在する。鳥取県境にほど近い安来市北東部に位置し、標高約30mの丘陵上に立地する。調査期間は令和4年10月12日から令和5年1月10日、調査対象面積は220㎡、調査体制は調査員1名、会計年度任用職員調査員1名、同調査補助員1名である。



五反田古墳群位置図（1/25,000 母里）

**五反田1号墳の概要** 直径約25mの円墳で、時期は古墳時代前期末である。前回の調査で、中心主体である竪穴式石槨とその周辺を除き、地山面まで掘削を終了している。竪穴式石槨は主軸をほぼ南北方向にとり、規模は内法で長さ4.8m、幅は北小口が約40cm、南小口は57cmで南が幅広になっている。壁体は長方形の割石を3～5段積み上げて構築し、北小口のみ板状の石を立てて塞いでいる。今回の調査で、南小口と西壁の石材は交互に重なるのに対し、東壁の石材は南小口との重なりがなく、東壁と西壁で構築方法が異なることが分かった。このほか、石槨内外の一部で確認していた円礫群については、その範囲が石槨西側に大きく広がることが判明した。この円礫群は西側壁の1段目を設置した段階で敷かれ、その後2段目以降が構築されていることも明らかになった。遺物は包含層（墳丘盛土）、石槨のいずれからも出土しなかった。

**門生黒谷Ⅲ遺跡の概要** 竪穴建物6棟などからなる弥生時代後期の集落である。五反田1号墳の下位にある未調査範囲について調査を実施した結果、ピット2基を検出した。遺物の出土はなく時期も明らかにできないため詳細は不明である。

**まとめ** 今回の調査では、五反田1号墳の竪穴式石槨の構築方法について新たな知見が加わった。県内において竪穴式石槨の発掘調査事例は少なく、前期古墳の埋葬施設を考えるうえで貴重な資料を提供することができた。（宮本正保）



五反田1号墳



五反田1号墳竪穴式石槨基底部（南から）

## 7 民間開発に伴う発掘調査

**事業概要** この調査は民間企業から委託を受けて令和元年度から実施している。令和4年度は、高城跡及び小原遺跡の調査を行った。

### (1) 高城跡

**調査概要** 高城跡は出雲市知井宮町に所在する遺跡で、標高約105mの山麓上に立地する。調査期間は令和4年5月17日から8月1日、調査面積は490㎡、調査体制は調査員1名、会計年度任用職員調査補助員1名で実施した。



高城跡位置図 (1/25,000 神西)

**遺跡の概要** 高城跡は、中世の山城跡として従来より知られている。山麓頂部には数段の平坦面で構成された主郭が見られ、周囲は切岸により急斜面となっている。今回の調査では、主郭の南側斜面に延びる尾根の一部を発掘した。尾根は調査区中央付近で三又に分かれており、調査区西側の尾根筋で階段状に連続する平坦面 (SX01) と土坑 (SK01) を検出した。SX01は、平坦面5基で構成される遺構である。北東から南西に向かって延びる尾根に沿って、小規模な平坦面が階段状に連続しており、南西側は調査区外へと続く。平坦面上に柱穴などの人為痕跡は見つかっていない。遺物は出土しておらず、時期は不明である。遺構の性格は不明だが、主郭との位置関係などから、連続した小郭を利用した登城路のような機能が想定される。SK01はSX01の下面で検出した炭溜りである。平面は楕円形を呈し、埋土中には多量の炭を含んでいる。遺物は出土していない。

**まとめ** 中世の山城跡として知られる高城跡について、主郭の南側斜面の調査を行った。その結果、時期不明ながらも登城路の機能が想定される遺構が発見された。高城跡は自然地形を利用して臨機的に普請された山城である可能性が想定され、本遺跡の時期や機能をうかがううえで重要な知見を得ることができた。

(稲田陽介)



調査地遠景



SX01 検出状況

## (2) 小原遺跡

**調査概要** 小原遺跡は雲南市掛合町に所在し、標高約 418 m の丘陵尾根上に位置する。調査期間は、令和 4 年 7 月 26 日から 11 月 1 日、調査面積は 289 m<sup>2</sup>、調査体制は調査員 1 名、会計年度任用職員調査補助員 1 名で実施した。

**遺跡の概要** 小原遺跡は、令和元年度の分布調査で見えられた遺跡で、墳墓と思われるマウンド状の高まり 11 基及び平坦面が確認されている。今回の調査では、このうちの一部を発掘し、古墳 4



小原遺跡位置図 (1/25,000 三瓶山東部)

基 (1 号墳～4 号墳) と古墳の区画溝、土坑を検出したほか、全面を調査した 1 号墳と 2 号墳ではそれぞれの墳頂部に埋葬施設を確認している。1 号墳は約 11 m × 9 m の方墳で、東西は溝で区画されている。盛土は墳頂部など一部に残存するのみであった。墳頂部の盛土下面からは、墓壙を検出した。墓壙は二段掘り構造で、土層の堆積状況より箱形木棺が設置されていたと推測される。墓壙の北側には張り出しが認められ、小型の土坑を検出した。遺物は古墳時代前期の土師器が出土している。2 号墳は約 11 m × 7 m の方墳で、東西に区画溝を持つ。盛土は墳頂部にのみ残存し、盛土下面より墓壙を検出した。2 基の墓壙が切りあっており、いずれも木棺が設置されていたと推測される。墳丘周辺から古墳時代前期の土師器が出土している。3 号墳は東側の墳端の一部を検出した。地山の傾斜変換点を墳裾とすると、南北約 10 m を測る。墳丘測量図と合わせると 1 辺 10 m 程度の方墳と推測される。4 号墳は、西側の墳丘端部が僅かに調査区にかかっているのみで、明確な墳裾は確認できなかった。墳丘測量図から見ると、約 15 m × 12 m の方墳もしくは円墳と思われる。

**まとめ** 小原遺跡の調査では、古墳 4 基とそれに伴う区画溝等を確認した。このうち墳丘全体の調査を行った 1 号墳と 2 号墳は、出土遺物より古墳時代前期に築造されたものと推測される。本遺跡が所在する雲南市掛合町では、これまで前期古墳は見つかっておらず、分布の空白地帯となっていた。今回の調査は、山間部における古墳時代前期の首長墓のあり方を知るうえで貴重な発見となったと言える。

(稲田陽介)



調査地遠景



小原遺跡調査完了状況



## VII 学術調査ほか

### 1 史跡出雲国府跡

#### (1) 六所脇地区

**調査の概要** 国庫補助事業として平成 11（1999）年度から出雲国府跡の発掘調査を行っている。令和 4 年度は六所脇地区（政庁域）で国庁の変遷を確認するため、正殿南側の約 50㎡を発掘調査した。現地調査は 9 月 5 日～ 11 月 28 日まで、調査員 1 名、補助員 2 名で実施した。



出雲国府跡位置図

**遺構の概要** 本年度調査区は 2 か所のトレンチ

(T72・T73) で、①令和 2 年度に確認された 37 号建物跡（前殿）西半の確認、②過年度に検出された石敷遺構の範囲確認、を主目的として実施した。まず 37 号建物跡については、身舎南壁にあたる範囲で 2 か所の柱穴を検出した。その結果、建物の規模は梁行 2 間×桁行 5 間、柱間は東西の両端では 2.7 m（9 尺）、その他はいずれも 3 m（10 尺）と推定することが可能となった。また、検出した柱穴の一部断ち割り調査で掘方と抜取穴を確認したことから、前殿には少なくとも掘立柱建物の時期があることが確実となった。土層断面では礎石据付穴等は確認できなかったが、検出面に根石状の礫が認められることから、礎石建物に建て替えられた可能性は排除できない。掘立柱建物の解体時には、柱を建物の外側（南側あるいは南西側）に倒して抜き取りを行った様子がうかがえる。

石敷遺構は過年度の調査で正殿前に存在することが確認されていたが、今回の調査により前庭空間にも広く敷設されていたことが判明した。少なくとも 36 号建物（東脇殿）の南端にあたる範囲までは敷設されていた可能性が高く、正殿前の儀礼空間を広く飾ったものと考えられる。石敷は前殿解体後の 9 世紀中葉以降に敷設され、12 世紀前半頃までには廃絶していると想定される。

**遺物の概要** 須恵器・土師器の破片が大多数で、いずれも遺物包含層・整地層からの出土である。このほか、瓦片や玉作関係遺物、鉄製品も少数ながら認められる。

**まとめ** 今年度の調査により、前殿の規模や構造に関する有用な情報を得ることができ、政庁域における建物配置及び儀礼の変遷などを検討するうえで重要な成果となった。（岩崎孝平）



37 号建物跡の柱穴断ち割り状況（東から）



石敷遺構の検出状況（西から）

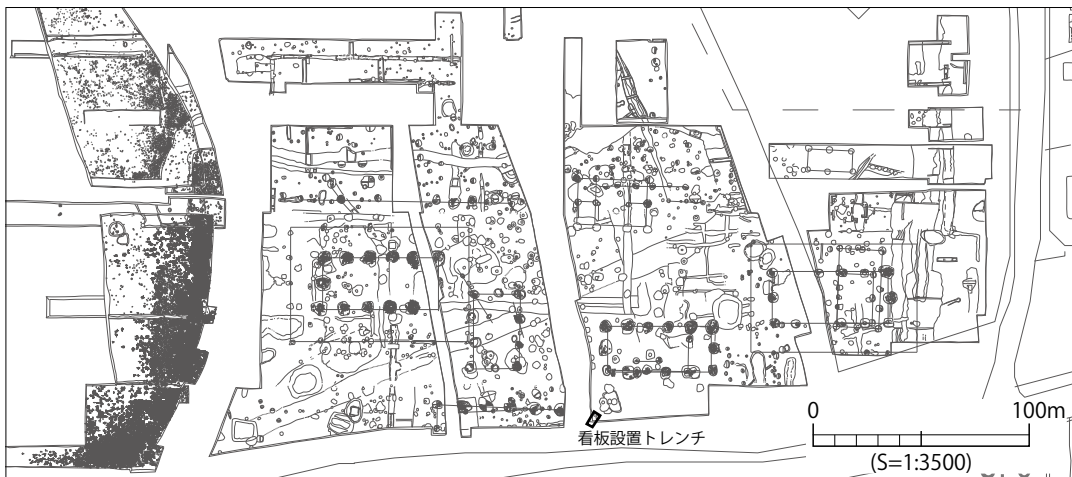
(2) 大舎原地区看板設置トレンチ ※令和3年度末実施分補遺

令和4(2022)年3月24日、史跡出雲国府跡大舎原地区における遺構解説看板の設置に伴い、3.04㎡の部分的なトレンチ発掘調査を実施した。調査体制としては、調査員1名(調査第二課主任主事・吉松優希)、会計年度任用職員1名で実施した。

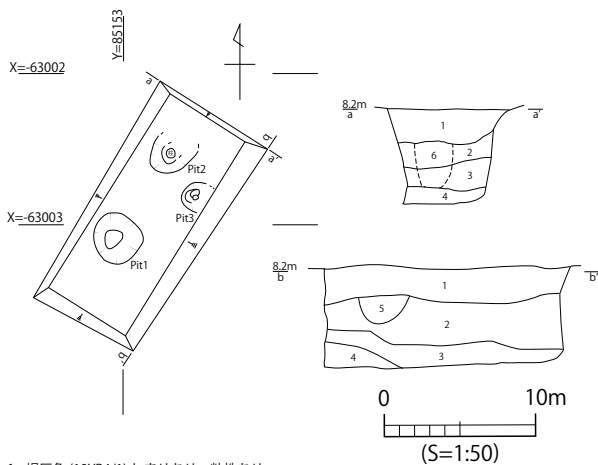
基本層序は、地表面から耕作土(1層)、明黄褐色土(2層)、にぶい黄橙色土(3層)、褐灰色～灰白色土(4層)の順に堆積する。明黄褐色土(2層)の上面で、3基のピット(P1～3)を検出した。P1は過去に調査されており、真砂土で埋め戻されていた。規模は0.32×0.3m、P2、P3はいずれも同様の堆積状況(第5層)である。規模はP2で0.26×0.2m以上、P3で0.2×0.2m以上である。これらのピットは同一の建物を構成するものではなく、建物構造は不明である。また、P2、P3は埋土の堆積状況や土色などが同一のものであることから、同時期に形成されたものと考えられる。

出土遺物は、耕作土から須恵器坏蓋片1点(第3図1)、P3の埋土中より古墳時代中期頃と考えられる土師器片(第3図2・3)が出土した。P2では、柱材と思われる木材(第3図4・5)も検出された。

(岩崎孝平)

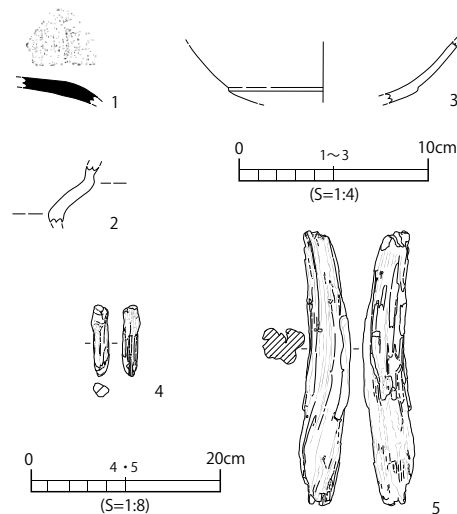


第1図 調査箇所的位置



1. 褐灰色(10YR4/1)しまりあり、粘性あり
2. 明黄褐色(10YR7/6)しまり強、粘性強、炭化物含む、基盤層
3. にぶい黄褐色(10YR7/3)しまり強、粘性強、炭化物含む、シルト
4. 褐灰色～灰白色(10YR7/1～6/1)しまりあり、粘性強、砂質
5. 褐灰色(10YR4/1)しまりあり、粘性強、炭化物含む、pit3
6. 褐灰色(10YR4/1)しまりあり、粘性強、炭化物含む、pit2

第2図 看板設置トレンチ平面図・土層断面図



第3図 看板設置トレンチ出土遺物

## 2 考古基礎資料調査研究(墓制調査)

### 名分丸山古墳

**調査の概要** 島根県古代文化センターと島根県埋蔵文化財調査センターは「考古基礎資料調査(墓制調査)」事業の一環として、令和元年度から松江市鹿島地域にある前期古墳を対象とした分布調査や測量調査を実施してきたが、本年度は古相の前方後方墳と目される名分丸山1号墳の発掘調査をおこなった。古代文化センター職員5名、埋蔵文化財調査センター職員5名の調査体制で、令和4年11月14日から12月22日にかけて実施した。



名分丸山古墳位置図

**古墳の概要** 名分丸山1号墳は佐太川右岸の低丘陵上に位置する。昭和58年に鹿島町教育委員会が実施した測量調査で、全長39mで前方部前端が大きく撥形に開く前方後方墳であることが確認されている。今回の調査では、築造時期や墳丘構造、墳丘形態を把握することを目的に、後方部に3本、前方部に5本のトレンチを設定した。調査面積は合計で50㎡である。

後方部では、墳頂部で地山の上に旧表土、盛土を確認できたが、墳丘斜面にはみられなかった。このことから後方部は主に地山削り出しで成形され、墳頂部にのみ盛土をしていたことがわかった。後方部の東・西・南辺で墳裾と考えられる傾斜変換点が認められたが、段築は確認できなかった。また、後方部墳頂では2つの木棺陥没痕跡が墳丘長軸に平行する形で検出された。このうち東側の陥没痕跡は長さ約4m、幅0.8mで、土師器が出土している。土師器は低脚坏、小型器台、壺があり、古墳時代前期前半新段階～中葉のものと考えられる。前方部では盛土はみられず、地山を削り出して墳丘を成形している。いずれのトレンチでも墳裾と考えられる傾斜変換点が確認され、これらをつなぐと前方部は前端にむかって、大きく開く形態になることがわかった。

**まとめ** 墳丘形態と出土した土師器の位置づけから、名分丸山古墳は出雲地域では最古級段階の前方後方墳であることが確認され、出雲地域における前期古墳の展開を考えるうえで重要な資料が得られた。  
(東山信治)



名分丸山古墳墳丘(前方部南隅から)



木棺陥没痕跡(北側から)

### 3 考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）

本事業は、過去に県教育委員会が発掘調査を実施し、当センターで収蔵している出土品のうち、報告書非掲載遺物を中心とした再整理を行い、その内容を明らかにするとともに、県民をはじめ一般に広く利用できるようデータベース化を図ることを目的としている。

昨年度からあらたに開始した西川津遺跡海崎地区（『西川津遺跡Ⅲ』（島根県教育委員会 1987）、『西川津遺跡Ⅳ』（同 1988）、『西川津遺跡Ⅴ』（同 1989））の再整理では、大きく 4 つの作業をおこなった。①掲載資料（土器・石器・玉未成品）の注記確認、②昨年度の続きとなる 1983～1984 年度調査の土器分類、③分類した土器の注記と土層図に記載された層位との照合、④非掲載図面の整理である。今年度の作業によって、調査時に認識されていた各層の堆積時期を遺物によって再検証することができ、弥生時代前期以前は比較的混じりの少ない層、弥生時代中期以降は古い時期の遺物が多く含まれることが明らかとなった。（真木大空）

### 4 保存処理・理化学分析

遺跡から発掘された遺物の多くが、木製品は水漬けパック、金属製品が酸化防止システムでのパックという状態で「仮保管」されている。「仮保管」では遺物の劣化が進みやすく、展示などの活用が制限されてしまうため、これらの問題を解消するために年間を通して継続的に作業を進めている。水漬け木製品は、主にトレハロースでの保存処理を行っている。自然乾燥してしまった木製品はアクリル樹脂を塗布、又は含浸することで強化し遺物の形状を維持する。金属製品はクリーニング、脱塩、アクリル樹脂の減圧含浸による防錆・強化を行なっている。処理後の遺物は温湿度管理下において保管している。上記以外の材質の遺物も、脆弱なものに対して随時、処置を施す。

赤外線観察・X線撮影・蛍光 X 線分析に関しては、古代出雲歴史博物館と連携し、調査現場、報告書撮影、保存処理での活用のほかに、市町村教育委員会・大学等を対象とした観察・撮影・分析も行なっている。

#### 令和 4 年度 作業実績

出土遺物の保存処理は、未処理又は、一度保存処理を施されているが状態が悪化したものについて、表 1・2 のとおり実施した。保存状態や活用機会の可能性を考慮して、保存処理計画を作成するとともに、古代出雲歴史博物館の展覧会や外部機関への貸出しに対応するために、随時計画を調整して保存処理を進めている。理化学分析は表 3・4 のとおり実施した。これらの分析結果は報告書作成等に反映された。（澤田正明・上山晶子）

#### ① 保存処理業務実績

表 1 木製品

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
国道 9 号線バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 - IV - (1983)				
布田	173 図 -1	弓	トレハロース含浸	処理中
布田	173 図 -3	弓弭部片	トレハロース含浸	処理中
遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
飯梨川河川改修に伴う富田川河床遺跡発掘調査報告 (4) (1984)				
富田川河床	非掲載	折敷破片?	トレハロース含浸	処理中
遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
朝酌川広域河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第 11 冊 西川津遺跡 VI (1999)				
西川津	65 図 -4	広楸未成品	トレハロース含浸	処理済
西川津	67 図 -11	機織具片	トレハロース含浸	処理済
西川津	207 図 -2	広楸未成品	トレハロース含浸	処理済
西川津	209 図 -7	權状木製品	トレハロース含浸	処理済
西川津	212 図 -18	板材	トレハロース含浸	処理済

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
朝酌川河川改修工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書Ⅳ（海崎地区2）（1988）				
西川津	117 図-28	広鋳未成品	トレハロース含浸	処理中
西川津	117 図-29	広鋳未成品	トレハロース含浸	処理中
西川津	117 図-30	広鋳未成品	トレハロース含浸	処理中
西川津	127 図-89	丸鋳未成品	トレハロース含浸	処理中
西川津	164 図-286	なすび形鋳	トレハロース含浸	処理中
西川津	164 図-287	なすび形鋳	トレハロース含浸	処理中
西川津	164 図-288	組合式鋳	トレハロース含浸	処理中
西川津	164 図-291	田下駄	トレハロース含浸	処理中
西川津	165 図-292	田下駄？	トレハロース含浸	処理中
西川津	165 図-293	板状木製品	トレハロース含浸	処理中
西川津	165 図-295	田下駄	トレハロース含浸	処理中
西川津	166 図-301	板状木製品	トレハロース含浸	処理中
西川津	166 図-302	建築部材	トレハロース含浸	処理中
西川津	166 図-303	有頭棒	トレハロース含浸	処理中
西川津	166 図-304	鋳 or 鋳の柄	トレハロース含浸	処理中
西川津	166 図-305	杭	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
朝酌川河川改修工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書Ⅴ（海崎地区3）（1989）				
西川津	77 図-35	広鋳	トレハロース含浸	処理済
西川津	79 図-42	広鋳	トレハロース含浸	処理中
西川津	79 図-43	広鋳	トレハロース含浸	処理中
西川津	80 図-46	広鋳	トレハロース含浸	処理済
西川津	80 図-47	広鋳	トレハロース含浸	処理中
西川津	82 図-57	広鋳	トレハロース含浸	処理済
西川津	82 図-58	広鋳	トレハロース含浸	処理済
西川津	82 図-59	広鋳	トレハロース含浸	処理済
西川津	82 図-61	広鋳	トレハロース含浸	処理済
西川津	82 図-62	広鋳	トレハロース含浸	処理済
西川津	82 図-63	丸鋳	トレハロース含浸	処理済
西川津	82 図-65	棒状木製品	トレハロース含浸	処理済
西川津	82 図-66	棒状木製品	トレハロース含浸	処理済
西川津	82 図-67	棒状木製品	トレハロース含浸	処理済
西川津	83 図-70	丸鋳	トレハロース含浸	処理済
西川津	89 図-96	不明	トレハロース含浸	処理済

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
古代出雲歴史博物館建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書（2004）				
五反配	28 図-135	柄	トレハロース含浸	処理済
五反配	31 図-145	田下駄	トレハロース含浸	処理済
五反配	32 図-151	田下駄	トレハロース含浸	処理済
五反配	27 図-131	直柄手鋳	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
国道431号道路改築事業（東林木バイパス）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ（2006）				
青木	142図-W123	円形曲物	トレハロース含浸	処理中
青木	142図-W124	円形曲物	トレハロース含浸	処理中
青木	非掲載 B-4	曲物	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
一般国道9号（三俣益田道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書3（2020）				
上古市	39 図-3	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	52 図-2	建築材 / 壁？	トレハロース含浸	処理中
上古市	52 図-4	建築材 / 壁	トレハロース含浸	処理中
上古市	53 図-2	建築材 / 屋根？	トレハロース含浸	処理中
上古市	53 図-3	建築材 / 壁(床)？	トレハロース含浸	処理中
上古市	53 図-4	建築材 / 壁	トレハロース含浸	処理中
上古市	54 図-2	建築材 / 妻壁？	トレハロース含浸	処理中
上古市	55 図-1	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	55 図-2	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	56 図-3	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	57 図-1	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	57 図-2	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	57 図-4	柱	トレハロース含浸	処理中
上古市	57 図-5	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	60 図-4	建築材 / 桁	トレハロース含浸	処理中
上古市	62 図-2	建築材 / 壁	トレハロース含浸	処理中
上古市	63 図-1	建築材 / 壁か屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	66 図-1	建築材 / 壁	トレハロース含浸	処理中
上古市	66 図-2	建築材 / 壁	トレハロース含浸	処理済
上古市	67 図-2	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	67 図-7	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	70 図-1	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	74 図-1	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	74 図-4	建築材 / 床	トレハロース含浸	処理中
上古市	74 図-5	杭	トレハロース含浸	処理中
上古市	74 図-6	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	74 図-7	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	74 図-8	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	75 図-1	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	75 図-2	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	75 図-3	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	75 図-4	不明	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
鳥根県古代文化センター調査研究報告書 56 鳥根県教育庁埋蔵文化財調査センター所蔵資料再整理事業報告書 2 鳥根県西川津遺跡出土品 1（2021）				
西川津	51 図-1	泥除未成品	トレハロース含浸	処理済
西川津	51 図-2	泥除未成品	トレハロース含浸	処理済
西川津※	51 図-3	直柄又鋳	トレハロース含浸	処理済
西川津	51 図-4	火鋳白	トレハロース含浸	処理済
西川津	51 図-5	建築部材の栓	トレハロース含浸	処理済
西川津	51 図-6	棒状品	トレハロース含浸	処理済
西川津	51 図-7	棒状品	トレハロース含浸	処理済
西川津	51 図-8	板材（ミカン割）	トレハロース含浸	処理済
西川津	51 図-9	板材品	トレハロース含浸	処理済
西川津	51 図-10	板状品	トレハロース含浸	処理済
西川津	非掲載-1	農工・土木具	トレハロース含浸	処理済
西川津	非掲載-2	農工・土木具	トレハロース含浸	処理済
西川津	非掲載-3	樹皮	トレハロース含浸	処理中
西川津	非掲載-4	樹皮	トレハロース含浸	処理中
西川津	非掲載-5	樹皮	トレハロース含浸	処理中

※鳥根県教育委員会（1982）『朝酌川河川改修工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書-II』PL.6 掲載の又鋳と同一資料

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
斐伊川水系大橋川河川改修に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 2（2021）				
シコノ谷	119 図-3	独案？	トレハロース含浸	処理済

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
斐伊川水系大橋川河川改修に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 3（2022）				
朝酌矢田Ⅱ	図版 7-1	礎盤？	アクリル樹脂塗布	処理済

遺跡名	整理番号	資料名	処理方法	実施状況
古代文化センター研究事業 テーマ研究「鳥根県域における弥生社会の総合的研究」				
仁摩大寺	W4	板	トレハロース含浸	処理中
仁摩大寺	W7	梯子	トレハロース含浸	処理中
仁摩大寺	W13	櫓	トレハロース含浸	処理中
仁摩大寺	W16	田下駄	トレハロース含浸	処理中

VII 学術調査ほか

表2 金属製品

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
中国横断自動車道尾道松江線建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 14 (2001)						
馬場	113 図-1	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-2	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-3	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-4	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-5	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-6	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-7	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-8	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-9	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-10	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-11	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-12	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-13	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-14	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-15	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-16	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-17	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	113 図-18	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
隠岐空港整備事業に係る埋蔵文化財調査報告書 第3冊 (2002)						
御崎谷Ⅱ	23 図-1	板状製品	銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂 (バラロイド B72) 含浸	処理済	
御崎谷Ⅱ	23 図-2	接続部品	銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂 (バラロイド B72) 含浸	処理済	

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
一級河川江の川直轄河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 4 (2022)						
森原下ノ原 (1～3区)	77 図-1	青銅鏡 (盤龍鏡?)	銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂 (バラロイド B72) 含浸	処理済	

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
古代文化センター研究事業 古代文化研究事業テーマ研究「古代隠岐の形成と特質」						
大座1号墳		大刀	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
大座1号墳		鉄斧	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	
大座1号墳		刀子	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (バラロイド NAD10) 含浸	処理済	

② 理化学分析

X線撮影は古代出雲歴史博物館において連携して行なった。

表3 赤外線観察 (令和4年2月1日～令和5年1月31日までに依頼があったもの)

実施日	依頼者	内容	点数	備考
2月8日	島根県埋蔵文化財調査センター	上ノ谷遺跡出土石器付着黒色物質の成分分析	1	

表4 蛍光X線分析 (令和4年2月1日～令和5年1月31日までに依頼があったもの)

実施日	依頼者	内容	点数	備考
2月8日	島根県埋蔵文化財調査センター	上ノ谷遺跡出土石器付着黒色物質の成分分析	1	
2月24日～3月9日	島根県埋蔵文化財調査センター	森原下ノ原遺跡出土縄文土器付着赤色顔料の成分分析	26	
5月25日	島根県文化財課世界遺産室	温泉津中町地区出土金属製品の材質分析	1	

## 5 試掘確認・分布調査

## (1) 令和4年度 試掘確認調査実績

事業 (予算)	事業名	名称等 (試掘実施時)	所在地	現地調 査期間	調査対象 面積 (㎡)	実施した調査 (トレンチ面積合計)	調査概要	本調査の要否 (本調査面積)	調査員
確認調査 (国事業)	斐伊川水系大橋川 河川改修事業(白瀧 地区)予定地	松江城下町遺跡 白瀧 3B 区	松江市八軒屋 町 1 外	5月2日	1,320	トレンチ1か所 (約16㎡)	溝状遺構(近世) 近世包含層	要 (1,320㎡)	東山 伊藤徳 柳浦 園山
	斐伊川水系大橋川 河川改修事業(朝酌 地区)予定地	朝酌矢田 II 遺跡	松江市朝酌町 字矢田 1019-4 外	12月12日	600	トレンチ2か所 (約18㎡)	礫敷(奈良時代) 陶磁器(近世)	要 (380㎡)	真木 岩崎
	一般国道191号益 田西道路改築事業 予定地	要注意箇所 30	益田市白上町 口 911 外	9月12日 ・13日	1,960	トレンチ3か所 (約20㎡)	遺構・遺物なし	否	真木 松山
		要注意箇所 39	益田市飯田町 1517-1 外	9月13日 ～16日	15,700	トレンチ9か所 (65㎡)	遺構・遺物なし	否 (要追加試掘調査)	真木 松山
		要注意箇所 36	益田市虫追町 イ 1081 外	12月5日 ～8日	13,300	トレンチ11か所 (70㎡)	土坑(古墳時代) 土師器・須恵器 陶磁器(近世)	要 (6,060㎡) (要追加試掘調査)	真木 伊藤智
要注意箇所 37	益田市虫追町 イ 1040 外	12月8日 ・9日	10	トレンチ1か所 (2.5㎡)	遺構・遺物なし	否	真木 伊藤智		
確認調査 (県事業)	国道431号道路改 築事業予定地	森山西工区	松江市美保関 町森山 34 外	2月13日 ・14日	6,500	トレンチ6か所 (36㎡)	盛土状堆積・土 坑(時期不明) 陶磁器(近世)	否	真木 伊藤智

## (2) 令和4年度 分布調査実績

事業 (予算)	計画事業名	所在地	調査期間	市町村協力など
分布調査 (国事業)	一般国道9号出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道 路改築事業に伴う残土処理場候補地	出雲市西神西町、多伎町	11月16日	出雲市
	一般国道191号益田・田万川道路予定地内	益田市飯田町、戸田町	2月20日～23日・27日	益田市
	一般国道191号益田西道路予定地内	益田市戸田町、白上町、虫追町、飯田町	2月27日～3月8日	益田市
分布調査 (県事業)	国道431号松江北道路改築事業予定地内	松江市下東川津町、西持田町、下佐陀町、 西浜佐陀町、古曾志町	4月25日	松江市
	国道431号松江北道路改築事業予定地内	松江市下東川津町、西持田町、法吉町、 東生馬町、西生馬町、古志町、西谷町、 西浜佐陀町	2月20日・21日	松江市

## VIII 県内調査一覧

市町村など（令和3年度12月10日以降に通知のあったもの）

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積 (㎡)	発掘予定期間	
1	散布地 生産遺跡 生活関連遺跡	西川津遺跡	松江市西川津町字堂垣 582-	ま文理第329号 3.12.23	松江市長 上定昭仁	古藤博昭	4.5	3.12.24~ 3.12.24	個人住宅
2	集落跡 その他の墓 生産遺跡	福富Ⅰ遺跡	松江市乃木福富町字天場 649-2 の一部	ま文理第400号 4.1.13	松江市長 上定昭仁	三宅和子	9	4.1.21~ 4.1.21	道路
3	社寺跡	山代郷南新造院跡	松江市山代町177-1の一部、177-2、178	ま文理第402号 4.1.14	松江市長 上定昭仁	川西 学	24	4.1.17~ 4.2.7	保存目的の範囲内容確認調査
4	集落跡 社寺跡	佐太前遺跡・佐太神社神宮寺跡	松江市鹿島町佐陀宮内 72.73	ま文理第405号 4.1.13	松江市長 上定昭仁	廣濱貴子	126	4.1.17~ 4.2.2	その他の建物(防災施設)
5	散布地	波子遺跡	江津市波子町0451-1	江教社第349号 3.12.17	江津市教育委員会教育長 田中利徳	持田直人	1,764	3.1.17~ 3.2.17	保存目的の範囲内容確認調査
6	集落跡	麓Ⅱ遺跡	出雲市東神西町地内	文財第731号 4.1.17	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	黒田祐介	6	4.1.21~ 4.1.21	その他開発(防火水槽)
7	集落跡	乃木西廻遺跡	松江市上乃木4丁目 2005-6、2005-12	ま文理第440号 4.2.1	松江市長 上定昭仁	古藤博昭	53	4.2.2~ 4.2.18	個人住宅
8	散布地	山入遺跡	津和野町田二穂 820-1 他	津教委第1524号 4.2.14	津和野町教育委員会教育長 世良清美	渡辺 聡	1,350	4.2.中旬 ~4.8.-	道路
9	集落跡	山持遺跡	出雲市西林木町 829、830、831、832、833	文財第859号 4.2.21	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	黒田祐介	20	4.3.1~ 4.3.1	宅地造成
10	古墳	青木原古墳群	松江市玉湯町玉造 93-1、93-2	ま文理第468号 4.2.22	松江市長 上定昭仁	古藤博昭	45	4.2.24~ 4.3.9	宅地造成
11	集落跡 古墳	築山遺跡	出雲市上塩治町字大井谷 1690-1	文財第886号 4.2.24	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	黒田祐介	10	4.3.3~ 4.3.3	その他建物(賃貸住宅)
12	集落跡	角田遺跡	出雲市上塩治町 2660-1,2661-3,2662-1,2668,2669	文財第896号 4.3.1	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	黒田祐介	40	4.3.8~ 4.3.8	店舗・その他の開発
13	集落跡	土井ノ内遺跡	松江市坂本町字土井ノ内 342-2、343、字馬喰労座 354、355 他	ま文理第509号 4.3.14	松江市長 上定昭仁	三宅和子	37.5	4.3.22~ 4.3.25	宅地造成
14	散布地	A-19 遺跡	松江市八幡町 183-1、176-1、184-1	ま文理第458号 4.3.15	松江市長 上定昭仁	徳永 隆	4.5	4.3.16~ 4.3.16	その他開発(宅地売却)

市町村など（令和4年度4月1日以降に通知のあったもの）

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積 (㎡)	発掘予定期間	
1	集落跡 古墳 生産遺跡	結西谷Ⅳ遺跡	出雲市斐川町直江 3638-1 他	文財第12号 R4.4.7	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	下江裕隆	1,250	4.4.14~ 4.10.31	その他開発(工業団地造成)
2	散布地	客土遺跡	松江市西尾町字客土604の一部	埋文第23号 R4.4.18	松江市長 上定昭仁	三宅和子	4.5	4.4.20~ 4.4.20	その他建物
3	集落跡	乃木西廻遺跡	松江市上乃木4丁目2005-5	埋文第28号 4.4.21	松江市長 上定昭仁	古藤博昭	67	4.5.16~ 4.6.30	個人住宅
4	古墳	スクモ塚古墳	益田市久城町543-3	益教文第38号 4.4.25	益田市教育委員会教育長 高市和則	林 幸	18	4.5.16~ 4.6.30	保存目的の範囲内容確認調査
5	集落跡	天神遺跡	出雲市天神町568-1、587、572、574	文財第74号 4.4.25	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	黒田祐介	8	4.4.28~ 4.4.28	宅地造成



番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積 (㎡)	発掘予定期間	
6	集落跡	山居空遺跡	松江市浜乃木2丁目756-3、756-17	埋文第49号 R4.5.6	松江市長 上定昭仁	川西 学	8.8	4.5.9～ 4.5.13	ガス・水道・ 電気
7	社寺跡	山代郷南新造院跡	松江市山代町172-1、175、176-1、176-2	埋文第50号 R4.5.11	松江市長 上定昭仁	灘 友佳	29.5	4.5.16～ 4.6.17	宅地造成
8	城下町遺跡	中世七尾城下町遺跡	益田市七尾町イ454	益教文第47号 R4.5.19	益田市教育委員会教育長 高市和則	佐伯昌俊	29	4.5.6～ 4.6.17	保存目的の範囲内容確認調査
9	集落跡 官衙跡	古志本郷遺跡	出雲市古志町996-10ほか	文財第132号 R4.6.6	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	黒田祐介	24	4.6.9～ 4.6.9	集合住宅
10	散布地	中山丘陵遺跡	出雲市大津町2665-1、2665-9、3570-1	文財第199号 R4.6.9	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	黒田祐介	110	4.6.28～ 4.6.30	その他開発 (市有地売却)
11	集落跡	築山遺跡	出雲市上塩冶町4047-1	文財第164号 3.6.7	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	黒田祐介	8	3.6.10～ 3.6.10	個人住宅
12	集落跡	長廻遺跡	松江市上乃木4丁目1447-3	埋文第129号 R4.6.16	松江市長 上定昭仁	川上昭一	81	4.6.20～ 4.7.1	個人住宅
13	集落跡 その他の墓 生産遺跡	古浦砂丘遺跡	松江市鹿島町古浦字砂山602-36	埋文第92号 R4.7.4	松江市長 上定昭仁	三宅和子	4.5	4.7.5～ 4.7.5	個人住宅
14	城館跡	高津城跡	益田市高津町イ2402-1	益教文第89号 R4.7.15	益田市教育委員会教育長 高市和則	林 宏行	20	4.7.20～ 4.8.5	その他の建物 (休憩施設)
15	集落跡	小山遺跡	出雲市小山町514-1、515-3	文財第631号 R4.8.3	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	須賀照隆	8	4.8.9～ 4.8.9	個人住宅
16	官衙跡	柴原遺跡	松江市福原町字寺ノ前477-1	埋文第200号 R4.8.25	松江市長 上定昭仁	三宅和子	9	4.9.8～ 4.9.8	個人住宅
17	集落跡 古墳 生産遺跡	結西谷IV遺跡	出雲市斐川町直江3668他	文財第467号 R4.9.12	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	石原 聡	3,600	4.10.1～ 5.3.31	その他開発 (工業団地造成)
18	集落跡	天神遺跡	出雲市塩冶有原町6丁目45-1	文財第487号 R4.9.16	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	須賀照隆	12	4.9.26～ 4.9.26	個人住宅
19	散布地 貝塚	南原遺跡	出雲市大社町608-5、615-1	文財第515号 R4.9.27	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	須賀照隆	24	4.9.29～ 4.9.29	店舗 宅地造成
20	散布地	鹿蔵山遺跡	出雲市大社町杵築南1369-1	文財第406号 3.8.26	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	黒田祐介	12	3.9.9～ 3.9.9	その他の建物 (宿泊施設)
21	散布地	高岡遺跡	出雲市高岡町796-1	文財第527号 R4.9.29	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	須賀照隆	6	4.10.7～ 4.10.7	宅地造成
22	集落跡 城館跡	小山遺跡	出雲市小山町555ほか	文財第573号 4.10.12	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	須賀照隆	86	4.10.19～ 4.10.20	宅地造成
23	生産遺跡	竹下窯跡	江津市江津町226-4付近	江教社第236号 4.10.11	江津市教育委員会教育長 田中利徳	持田直人	280	4.11.14～ 4.11.25	保存目的の範囲内容確認調査
24	集落遺跡	下古志遺跡	出雲市下古志町656	文財第625号 4.10.25	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	須賀照隆	6	4.10.28～ 4.10.28	店舗
25	生産遺跡	屋敷谷II遺跡	出雲市多伎町奥田儀	文財第644号 4.10.24	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	幡中光輔	8	4.10.27～ 4.11.30	道路
26	古墳	宮田古墳	松江市西川津町字前菅田927-1外	埋文第296号 4.11.25	松江市長 上定昭仁	三宅和子	9	4.11.28～ 4.12.23	宅地造成
27	集落跡	長尾原遺跡	邑智郡邑南町下亀谷395他	邑教生第73号 4.11.25	邑南町教育委員会教育長 大橋 覚	大野芳典	100	4.11.28～ 5.3.31	農業基盤整備 事業
28	城下町遺跡	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町後田口65-27	津教委第1117号 4.11.28	津和野町教育委員会教育長 岩本要二	渡辺 聡	6.25	4.12.12～ 4.12.23	保存目的の範囲内容確認調査
29	城下町	松江城下町遺跡(南田町108外)	松江市南田町108、108-4、108-5、108-6、108	埋文第326号 5.1.10	松江市長 上定昭仁	三宅和子	467.52	5.1.12～ 5.1.13	店舗
30	散布地 社寺跡	日御碕神社境内遺跡	出雲市大社町日御碕455ほか	文財第803号 5.1.6	出雲市教育委員会教育長 杉谷 学	須賀照隆 幡中光輔 黒田祐介	51	5.1.10～ 5.1.20	その他開発
31	生産遺跡	志学カジヤ田遺跡	大田市三瓶町志学ハ185他	大教石第11071号 5.1.13	大田市教育委員会教育長 武田祐子	矢部俊一	36	5.2.20～ 5.5.31	農業整備基盤 事業

Ⅷ 県内調査一覧

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積 (㎡)	発掘予定期間	
32	集落跡	谷頭遺跡	松江市大野町 1210、1211-1	埋文第338号 5.1.10	松江市長 上定昭仁	徳永 隆	360	5.1.16～5.3.31	道路

県（令和3年度12月1日以降に通知のあったもの）

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積 (㎡)	発掘予定期間	
1	生産遺跡	恵口鉦跡	江津市川平町南川上 94-3	島教埋第335号 3.12.13	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	伊藤 智	6	3.12.21～3.12.23	河川

県（令和4年度12月28日までに通知のあったもの）

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積 (㎡)	発掘予定期間	
1	散布地	朝酌矢田Ⅱ遺跡	松江市朝酌町 1002-1 外	島教埋第46号 4.4.12	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	椿 真治	450	4.5.9～4.8.31	河川・港湾
2	城館跡	高城跡	出雲市知井宮町地内	島教埋第45号 4.4.13	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	稲田陽介	400	4.5.1～4.6.31	その他の建物(送電線建設)
3	古墳横穴墓	小原遺跡	雲南市掛合町波多地内	島教埋第44号 4.4.13	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	稲田陽介	500	4.7.1～4.8.31	その他の建物(送電線建設)
4	集落跡	松江城下町遺跡(八軒屋町1外)	松江市八軒屋町1外	島教埋第39号 4.4.12	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	東山真治	10	4.4.20～4.5.13	河川
5	散布地	高丸遺跡	江津市黒松町 392-3 ほか	島教埋第10号 4.4.7	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	中川 寧	450	4.7.1～4.10.14	道路・鉄道
6	集落跡	松江城下町遺跡(魚町109外) 松江城下町遺跡(白瀧本町4外)	松江市魚町109外 松江市白瀧本町4外	島教埋第50号 4.4.18	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	伊藤徳広	610	4.5.9～4.8.31	河川・港湾
7	散布地 集落跡	団原Ⅲ遺跡	松江市大庭町 192外	島教埋第78号 4.4.21	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	伊藤 智	550	4.5.16～4.8.31	道路
8	生産遺跡	本田窯跡	江津市松川町 170-2 他	島教埋第77号 4.4.21	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	鈴木七奈	2,490	4.5.9～4.10.30	河川
9	散布地 集落跡	城乃内遺跡	大田市仁摩町宅野 895	島教埋第71号 4.4.25	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	宮本正保	290	4.5.9～4.8.26	道路
10	城下町跡	松江城下町遺跡	松江市魚町 1-1 外	島教埋第239号 4.8.8	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	椿 真治	640	4.8.22～4.12.20	河川・港湾
11	集落跡 古墳横穴墓	五反田古墳群(門生黒谷Ⅲ遺跡)	安来市門生町 938-4 外	島教埋第295号 4.9.26	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	宮本正保	220	4.10.11～4.11.30	道路
12	城館跡	千本崎城跡	江津市松川町太田 584-7 他	島教埋第313号 4.10.5	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	鈴木七奈	690	4.11.1～4.12.23	河川
13	集落跡 古墳横穴墓	五反田古墳群(門生黒谷Ⅲ遺跡)(発掘調査範囲の追加)	安来市門生町 938-4・938-2 外	島教埋第295号の2 4.10.12	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	宮本正保	226 (追加面積:6㎡)	追加面積部分は10月17日以降	道路
14	古墳横穴墓	名分丸山古墳	松江市鹿島町大字名分丸山 1602-1	島教文財第727号 4.10.20	島根県教育庁文化財課古代文化センター長 角田徳幸	吉松優希	50	4.11.7～4.12.28	学術研究
15	集落跡	松江城下町遺跡(和多見町172外)	松江市和多見町 172 外	島教埋第336号 4.10.25	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	東山信治	700	4.10.28～4.11.30	河川・港湾
16	集落跡	朝酌矢田Ⅱ遺跡	松江市朝酌町 1015-1 外	島教埋第362号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	岩崎孝平	19	4.12.12～5.1.20	河川

## IX 刊行物

## 1 報告書

報告書名	部数	編集担当者	遺跡の概要
斐伊川水系大橋川河川改修に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 3 朝酌矢田Ⅱ遺跡 (A～D区)	280	岩崎孝平	朝酌矢田Ⅱ遺跡は、大橋川が最も河川幅員を狭める北岸に位置し、北側には低丘陵が迫る。『出雲国風土記』島根郡条に「朝酌促戸」として登場する地域である。奈良時代においては、出雲国庁から隠岐国へ至る古代官道「枉北道」が縦断し、水陸両交通の要衝であったことが知られている。遺跡北方の低丘陵上では小規模な方墳が2基検出され、河川に面する低地では古代の礫敷遺構が2箇所確認された。後者は、『出雲国風土記』記載の渡し場「朝酌渡」に関連する施設である可能性が高いことが明らかとなった。古代官道に伴う渡し場の発見は全国的に希少であり、古代の交通や土木技術を考える上で注目される。またこうした成果は、考古学・古代史研究に大きく寄与するだけでなく、古代出雲の実態を把握する上でも重要な成果といえる。
一般河川江の川直轄河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 5 森原下ノ原遺跡1～3区 2. 縄文～古墳時代編	281	真木大空	江の川右岸の自然堤防上で縄文時代中期から近世にかけての複数の遺構面、包含層を確認した。本書はそのうち縄文時代から古墳時代の遺構と弥生時代前期以前の包含層出土遺物について報告した。 縄文時代では、後期初頭・前葉の集落遺跡を検出し、住居の可能性のある硬化面、焼土面などを検出した。そのほか、縄文時代中期前半、中期末、後期初頭から前葉の包含層を確認し、それぞれ本地域の基準となる土器様相を把握することができた。また、磨製石斧の未成品が大量に出土し、石斧製作遺跡と考えられた。 弥生時代では、弥生時代前期前半の包含層を検出し、ここでも磨製石斧の未成品が大量に出土したことから、時代の異なる磨製石斧製作の様相を把握することができた。 また、弥生時代後期から古墳時代中期の集落跡を検出し、竪穴建物5～6棟のほか、多くの土坑・ピットを確認した。弥生時代の竪穴建物ではガラス玉や顕著な被熱痕をもつ台石が出土し、古墳時代の竪穴建物では外来系土器の集中や粘土に覆われた合わせ口土器の出土など、特徴的な建物も多くみられた。本地域の中でも長期にわたって継続的に営まれた拠点集落の可能性はある。 『1. 古代～近世編』で報告した内容と合わせ、森原下ノ原遺跡は縄文時代から現代まで、5,000年以上にわたる人の活動痕跡を把握することができ、長期にわたって生産活動や交流の拠点として機能を維持しつづけたことが判明した。本地域の歴史を解明する上で、非常に重要な遺跡と位置づけることができる。
一般河川江の川直轄河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 6 森原下ノ原遺跡4区	275	仁木 聡	森原下ノ原遺跡は、江の川右岸に位置し、縄文時代中期から近世にかけての遺物、近世・近代遺構が確認されている。このうち、4区では1～3区では出土が希薄であった弥生時代前期後葉の土器がまとまって出土した。 4区における遺構は近世以降の皇跡と近代の石樋のみであったが、既往の調査により森原下ノ原遺跡は縄文時代から現代まで、5,000年以上にわたる人の活動痕跡が把握されており、長期にわたって生産活動や交流の拠点として機能を維持しつづけたことが判明している。江の川河口部の生産拠点、江の川の水運と古代山陰道推定ルートの渡河に関わる交通拠点（江東駅）との関連も含め、本地域の歴史を解明するうえで、非常に重要な遺跡と位置づけることができる。
一般国道9号(福光・浅利道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 下和田遺跡・高丸遺跡	281	大庭俊次 中川 寧	下和田遺跡では、土器溜や掘立柱建物、墓などの遺構を検出した。土器溜は6世紀代の祭祀跡である。掘立柱建物は奈良時代を中心として平安時代初めころまで3～4棟で構成される集落跡である。墓は集石土坑で、廃絶した集落の加工段を再利用して鎌倉時代に造られた。遺構外の須恵器の中には、ヘラ記号「×」など8点や刻書文字「欠」1点、線刻を3点確認した。その中には、蓮の花を線刻した甕があり注目される。高丸遺跡は標高7～33mの丘陵斜面に位置する。丘陵部では斜面に並行して埋土が暗色系の落ち込みがあり、弥生土器や古式土師器が出土した。谷部では古墳時代後期に暗色系の土が堆積し、中世以降には調査範囲の北側に砂丘が堆積した。弥生時代から江戸時代までの遺物が出土した。

<p>一般国道9号(静岡仁摩道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書10 城乃内遺跡</p>	<p>276</p>	<p>宮本正保</p>	<p>城乃内遺跡ではピット32基と土坑4基を確認した。遺物は包含層から黒曜石製・安山岩製の石鏃、磨石、弥生土器などが出土している。検出したピットは縄文時代・弥生時代のもが含まれるとみられる。土坑は近世のものと考えられる。このほか古代・中世・近世の須恵器・陶磁器も出土した。須恵器には肩部付近にヘラ描きの格子状文様をもつものがある。</p> <p>今回の調査で、宅野川流域において縄文時代に遡る遺跡の存在が想定された。黒曜石の剥片も多く出土したことから、この遺跡で石鏃など石器の製作が行われた可能性が高い</p>
<p>史跡出雲国府跡11</p>	<p>286</p>	<p>吉松優希</p>	<p>2018～2020(平成30～令和2)年度にかけて実施した、島根県松江市大草町他に所在する史跡出雲国府跡の発掘調査成果を報告したものである。政庁域を調査し、政殿南東に東脇殿と考えられる南北長舎の建物を2棟検出した。これらの建物は掘立柱建物から礎石建物へと建て替えられている。また、政庁南側では前殿と考えられる掘立柱建物を検出したほか、前殿の上層では石敷遺構を確認した。政庁域の建物配置や遺構の変遷などを検討するうえで重要な資料を得た。</p>

## 2 パンフレット

名称	部数	概要
<p>森原下ノ原遺跡</p>	<p>3,000</p>	<p>江の川河口部最大級の拠点集落であった森原下ノ原遺跡(江津市)の発掘調査成果について、分かりやすく解説したパンフレット。A4カラー8頁。</p>

## 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター年報 31

—令和4年度—

発行 2023年3月

編集 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒690-0131 松江市打出町33番地

【電話】0852-36-8608

【Eメール】maibun@pref.shimane.lg.jp

【ホームページ】<https://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

